

注3

大学番号：私242

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

川崎医療福祉大学 医療福祉学部 子ども医療福祉学科
医療技術学部 臨床検査学科
医療技術学部 診療放射線技術学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人川崎学園
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務部 教務課

職名・氏名 カチョウ イケダ カズアキ
課長 池田 和晃

電話番号 086-464-1021

（夜間） 090-9414-4901

F A X 086-462-1193

e-mail kyomuka@mw.kawasaki-m.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医療福祉学部

<子ども医療福祉学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	31

医療技術学部

<臨床検査学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	34
2. 授業科目の概要	38
3. 施設・設備の整備状況、経費	44
4. 既設大学等の状況	46
5. 教員組織の状況	49
6. 留意事項等に対する履行状況等	59
7. その他全般的事項	61

<診療放射線技術学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	64
2. 授業科目の概要	68
3. 施設・設備の整備状況、経費	74
4. 既設大学等の状況	76
5. 教員組織の状況	79
6. 留意事項等に対する履行状況等	89
7. その他全般的事項	91

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 川崎学園

(2) 大学名

川崎医療福祉大学

(3) 大学の位置

〒701-0193
岡山県倉敷市松島288番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カワサキ セイジ) 川崎 誠治 (平成24年3月)		
学長	(ツバハラ アキオ) 椿原 彰夫 (平成25年1月)		
学部長	(タネムラ ジュン) 種村 純 (平成27年4月)		
学科長等	(ハシモト ハヤト) 橋本 勇人 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療福祉学部 子ども医療福祉学科 学士(子ども医療福祉学)	社会学・社会福祉学関係	4年	80人	3年次 2人	324人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 80 (-) [-]	人 (-) [-]	1.01倍	
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	150 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	149 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	122 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	81 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A							1.01			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	81 [—] (—)	— [—] (—)		
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)		
3年次			/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次					/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
計			— [—] (—)	— [—] (—)			— [—] (—)	— [—] (—)	81 [—] (—)	— [—] (—)

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	- 人	0 人	平成26年度	- 人	- 人		%
			平成27年度	- 人	- 人		
			平成28年度	- 人	- 人		
			平成29年度	- 人	- 人		
平成27年度 入学者	- 人	0 人	平成27年度	- 人	- 人		%
			平成28年度	- 人	- 人		
			平成29年度	- 人	- 人		
平成28年度 入学者	- 人	0 人	平成28年度	- 人	- 人		%
			平成29年度	- 人	- 人		
平成29年度 入学者	81 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	81 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医療福祉学部 子ども医療福祉学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
医療福祉分野	医療と福祉	1前	1								兼	1
	入門医学概論	1前	2								兼	1
	医療福祉学概論	1後	2								兼	1
	生命倫理学	1前	2								兼	1
基礎教育科目	文章表現	1後	2					1				
	医療福祉の歴史	1前後		2							兼	1
	哲学	1前後		2							兼	1
	心理学	1前後		2							兼	1
	日本国憲法	1前後		2		1						
	社会学	1前後		2							兼	1
	経済学	1前後		2							兼	1
	数学	1前後		2							兼	1
	統計学	1前後		2							兼	1
	物理学	1前後		2							兼	1
	化学	1前後		2							兼	1
	生物学	1前後		2							兼	1
人類学	1前後		2							兼	1	
外国語分野	基礎英語Ⅰ	1前	2								兼	2
	基礎英語Ⅱ	1後	2								兼	2
	英会話	1前後		2							兼	1
	英会話（海外研修）	1前		2							兼	1
	英語リーディング	1前後		2							兼	1
健康・体育分野	健康体育基礎理論	1前	2								兼	1
	健康体育基礎演習	1前	1								兼	2
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							兼	1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							兼	1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後	1								兼	2

基礎教育科目	情報分野	コンピュータ基礎演習	1前	2							兼	1		
		コンピュータ活用演習	1前後		2						兼	1		
		情報学概論	1前後		2						兼	1		
	総合分野	異文化理解	1前後		2							兼	1	
		生活環境論	1前		2	1								
		ボランティア入門	1前		2							兼	1	
		生命科学	1前後		2							兼	1	
		健康科学論	1前後		2							兼	1	
		ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							兼	1	
		健康と音楽	1後		2							兼	1	
睡眠学		1前後		2							兼	1		
専門科目	子どもの心と体の分野(対象理解)	医学一般	1後	2		1								
		解剖学	1前		1							兼	1	
		生理学	1前		1							兼	1	
		小児科学	2前	1		1								
		小児看護学	3後		1							兼	2	
		救急医療	3前		2							兼	1	
		子どもと健康	1後	1					2			兼	1	各学生に応じたきめ細かな指導をするため、後藤大輔教員(兼担)を追加(29)
		幼児体育	3前		2							兼	1	
		小児保健Ⅰ	1前	2			1							
		小児保健Ⅱ	2後	2		1		1						
		小児保健Ⅲ	3後		1				1					
		小児栄養Ⅰ	1前	1								兼	1	
		小児栄養Ⅱ	1後		1							兼	4	調理演習時の事故防止と、きめ細かな指導のため梶井里恵教員(兼担)を追加(29)
		心身の発達と学習過程	3後	2					1			兼	1	
		子どもと表現Ⅰ	1後	2		1		2				兼	2	
		子どもと表現Ⅱ	2前	1								兼	1	
		子どもと言葉	2前	1					1					
		精神医学Ⅰ	2前	2								兼	1	
		精神医学Ⅱ	2後		2							兼	1	
		発達心理学	1前	2		1						兼	1	

子ども医療福祉システムの分野（制度理解）	人間工学	2後		2		1															
	子どもと環境	2前	1				1														
	ユニバーサルデザイン論	4前	1			1		1													
	子どもと人間関係	2前	1			1		1	1	1											
	幼児生活	4後		2		1		1	1	1											
	療養環境とデザイン	2前		2															兼	1	
専門科目	精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）	2前	1			1														兼	1
	精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	2後		2																兼	1
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開	3前	2								2										
	精神保健の課題と支援Ⅰ	2後	2								2										
	精神保健の課題と支援Ⅱ	3前		2																兼	1
	精神保健福祉援助演習Ⅰ	3後		1							2									兼	2
	精神保健福祉援助演習Ⅱ	4前		2							2									兼	2
	相談援助の理論と方法Ⅰ	2前		2																兼	1
	相談援助の理論と方法Ⅱ	2前		2																兼	1
	相談援助	3前	1			1		1													
	医療ソーシャルワーク論Ⅰ	3前		2																兼	1
	医療ソーシャルワーク論Ⅱ	3後		2																兼	1
	健康相談	3前		1							1										
	教育相談	3後	2				1		1	1	1									兼	1
	社会的養護内容	2後	1								1										
	保育内容総論	1後	2								2										
	家庭支援論	4後	2							1											
	救急処置法Ⅰ	3前	1							1											
	救急処置法Ⅱ	3後		1						1	1									兼	2
	子どものケアと発達支援の原理	1後	2				1														
	子どものケアと発達支援者論	2前	2								1									兼	1
	子どものケアと発達の相談支援	4前	1								1										
	乳児のケアと発達支援Ⅰ	2前	1								1									兼	1
乳児のケアと発達支援Ⅱ	4前		1							1											
幼児理解の理論と方法	2後	2								1									兼	2	

子ども医療福祉援助分野 (方法理解)	幼児音楽	3前		2			1		兼	3		
	幼児図画工作	2後		2		1	1					
	幼児国語	4前		2			1					
	小児ケア方法論	2後	1				1		兼	1		
	障害児のケアと発達支援Ⅰ	2後	1				2		兼	1		
	障害児のケアと発達支援Ⅱ	3前		1			1		兼	1		
	発達障害児のケアと発達支援Ⅰ	3後	1				1					
	発達障害児のケアと発達支援Ⅱ	4前		1			1					
	音楽療法	4前		1			1		兼	8		
	子どもと遊びの指導法(障害児・病児の遊びを含む)	3前	1				2					
	教育基礎理論	2前		2					兼	1		
	カリキュラム編成論	3前		2		1						
	教育方法の理論と実践	3前		2		1	1					
	教職概論	1前		2					兼	1		
子ども医療福祉総合分野 (実践理解)	基礎ゼミナール	1前	1			5 4		7 2 4			教員1名あたりの担当学生を減らし、各学生のニーズに応じたきめ細かい演習を展開するため、中原朋生教員(29は兼任、31より専任教員)、大江由美教員(29は兼任、30より専任講師)、森本寛訓教員(29は兼任、31より専任講師)、重松孝治教員(29は兼任、31より専任講師)を追加(29)	
	医療福祉キャリア形成論	3前	1			1		1				
	ソーシャルワーク基礎学修成果演習	3前	1			2		2				
	精神保健福祉学修成果演習	3後		1		1			2			
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3後		1					2	兼		2
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	4前		1					2	兼		3
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	4前		1					2	兼		3
	子どものケアと発達支援実習指導ⅠA	1後		1		1	2	6		兼		8
	子どものケアと発達支援実習指導ⅠB	2前		1		1	2	6		兼		3
	子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ(保育所・施設)	2後		1		1	2	6		兼		5
	教育実習指導	3後		1			1	1		兼		1
	精神保健福祉援助実習	4前		5					2	兼		3
	子どものケアと発達支援実習Ⅰ(保育所)	2前		2		5	2	8	2	兼		3
	子どものケアと発達支援実習Ⅰ(施設)	2後		2		5	2	7	2	兼		1

専 門 科 目	子 ど も 医 療 福 祉 総 合 分 野 (実 践 理 解)	子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）	2後		2		5	2	8	2		兼	4
		小児ケア実習Ⅰ	2後		1				2			兼	1
		小児ケア実習Ⅱ	3後		1					2		兼	1
		発達障害児のケアと発達支援実習	4後		2					2		兼	3
		教育実習	3後		4			1	1				
		教職実践演習（幼稚園）	4後		2		1	1	1			兼	1
		総合表現指導法Ⅰ	2後	2			1			3			
		総合表現指導法Ⅱ	3前	2			1			3			
		子ども医療福祉実践研究Ⅰ	4前	1			2	1	1				
		子ども医療福祉実践研究Ⅱ	4後	1			6	3	7	2			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
73	84	0	157	73	84	0	157	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{157} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	川崎医療短期大学（必要校地面積10,300.00㎡）と共用（収容定員1,030人）			
	校舎敷地	27,269.00㎡	2,224.19㎡	4,233.66㎡	33,726.85㎡				
	運動場用地	39,088.00㎡	0.00㎡	11,610.00㎡	42,788.00㎡				
	小 計	66,357.00㎡	2,224.19㎡	15,843.66㎡	84,424.85㎡				
	そ の 他	65,119.00㎡	0.00㎡	34,029.83㎡	99,148.83㎡				
	合 計	131,476.00㎡	2,224.19㎡	49,873.49㎡	183,573.68㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	川崎医療短期大学（必要校舎面積10,400.00㎡）と共用（収容定員1,030人）				
	79,854.22㎡ (79,854.22㎡)	1,646.11㎡ (1,646.11㎡)	14,427.50㎡ (14,427.50㎡)	95,927.83㎡ (95,927.83㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室等の使用用途を一部変更したため(29) 大学全体			
	48室	46室 44室	135室 138室	2室 (補助職員2人)	2室 (補助職員1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の研究室の割り当てを変更したため(29) 申請学科全体 1室を2人で使用する場合があります。			
	医療福祉学部 子ども医療福祉学科		11 室 14 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本	教育環境を充実させるため(29) 申請学科全体 共用図書 1,609冊(29) 1,893冊		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種					電子ジャーナル〔うち外国書〕	点
	医療福祉学部 子ども医療福祉学科	24〔4〕	3〔3〕 4〔4〕 (3〔3〕) (-4〔4〕)	190 186 (190) (-186)	839 785 (839) (-785)	43 (43)			
	計	24〔4〕	3〔3〕 4〔4〕 (3〔3〕) (-4〔4〕)	190 186 (190) (-186)	839 785 (839) (-785)	43 (43)			
(6) 図 書 館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	2,482.94㎡	606	210,275						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	2,995.44㎡	第1武道場 261.52㎡	第2武道場 262.11㎡	温水プール 25m×7コース					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備購入費は新設3学科全体(29) 設備の整備に想定より経費がかからなかったため(29) 図書購入費は前年度実績により予算を見直したため(29) 共同研究費は大学全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む	
		教員1人当り研究費等	567千円	523千円	図書購入費	一千円	1,640千円 1,727千円		2,640千円 2,427千円
	共同研究費等	60,000千円	60,000千円	設備購入費	52,238千円 100,000千円	50,000千円	50,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,350千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。

- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	川崎医療福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
≪AC対象学部等≫ 医療福祉学部 子ども医療福祉学科	4	80	3年次 2	324	学士 (子ども医療福祉学)	1.01	平成29年度		
医療技術学部 臨床検査学科	4	60	—	240	学士 (臨床検査学)	1.15	平成29年度		
診療放射線技術学科	4	60	—	240	学士 (診療放射線技術学)	1.16	平成29年度		
≪既設学部≫ 医療福祉学部 医療福祉学科	4	136	3年次 10	564	学士 (医療福祉学)	0.66	平成3年度		
臨床心理学科	4	80	3年次 5	330	学士 (臨床心理学)	0.82	平成3年度		
保健看護学科	4	120	3年次 10	500	学士 (保健看護学)	1.24	平成7年度	岡山県 倉敷市 松島288番地	平成29年度より 100名から120名に入学 定員を変更
医療技術学部 感覚矯正学科						1.18			
視能矯正専攻	4	40	—	160	学士 (感覚矯正学)	1.17	平成3年度		平成29年度より 30名から40名に入学定 員を変更
言語聴覚専攻	4	60	—	240	学士 (感覚矯正学)	1.19	平成3年度		平成29年度より 40名から60名に入学定 員を変更
健康体育学科	4	80	3年次 3	326	学士 (健康体育学)	1.16	平成3年度		平成29年度より 60名から80名に入学定 員を変更
臨床栄養学科	4	50	3年次 3	206	学士 (臨床栄養学)	1.05	平成3年度		
リハビリテーション学科						1.32			
理学療法学科	4	60	—	240	学士 (リハビリテーション学)	1.30	平成7年度		平成29年度より 40名から60名に入学定 員を変更
作業療法学科	4	60	—	240	学士 (リハビリテーション学)	1.33	平成7年度		平成29年度より 40名から60名に入学定 員を変更
臨床工学科	4	80	—	320	学士 (臨床工学)	1.22	平成19年度		平成29年度より 60名から80名に入学定 員を変更

医療福祉マネジメント学部									
医療福祉経営学科	4	60	3年次 2	244	学士 (医療福祉経営学)	0.73	平成17年度		
医療秘書学科	4	60	3年次 2	244	学士 (医療秘書学)	0.61	平成17年度		
医療福祉デザイン学科	4	40	3年次 2	164	学士 (医療福祉デザイン学)	0.52	平成17年度		
医療情報学科	4	60	3年次 3	246	学士 (医療情報学)	0.65	平成17年度		
医療福祉学研究科									
医療福祉学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (医療福祉学)	0.60	平成8年度		
医療福祉学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (医療福祉学)	0.22	平成10年度		
臨床心理学専攻 (修士課程)	2	12	—	24	修士 (臨床心理学)	0.62	平成8年度		
臨床心理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.33	平成10年度		
保健看護学専攻 (修士課程)	2	12	—	24	修士 (保健看護学)	0.50	平成11年度		
保健看護学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (保健看護学)	0.50	平成18年度		
医療技術学研究科									
感覚矯正学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (感覚矯正学)	0.93	平成8年度		
感覚矯正学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (感覚矯正学)	0.16	平成10年度		
健康体育学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (健康体育学)	0.12	平成8年度		
臨床栄養学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (臨床栄養学)	0.31	平成8年度		
リハビリテーション学専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士 (リハビリテーション学)	0.83	平成11年度		
リハビリテーション学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (リハビリテーション学)	0.66	平成13年度		
臨床工学専攻 (修士課程)	2	4	—	8	修士 (臨床工学)	0.25	平成23年度		
臨床工学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (臨床工学)	0.16	平成23年度		
健康科学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (健康科学)	0.83	平成10年度		
								岡山県 倉敷市 松島288番地	

医療福祉マネジメント学研究所												
医療福祉経営学専攻 (修士課程)	2	3	—	6	修士 (医療福祉経営学)	0.00	平成21年度	岡山県 倉敷市 松島288番地				
医療秘書学専攻 (修士課程)	2	2	—	4	修士 (医療秘書学)	1.00	平成21年度					
医療福祉マネジメント学専攻 (修士課程)	2	4	—	8	修士 (医療福祉マネジメント学)	0.00	平成21年度					
医療情報学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (医療情報学)	0.25	平成21年度					
医療情報学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (医療情報学)	0.16	平成21年度					
大学の名称	川崎医科大学								備考			
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地				
	年	人	年次 人	人		倍						
医学部 医学科	6	126	—	696	学士 (医学)	1.02	昭和45年度	岡山県 倉敷市 松島577番地	平成29年度 入学定員変更 (120人→126人) 平成27年度 入学定員変更 (110人→120人)			
医学研究科 医科学専攻	4	25	—	100	博士 (医学)	0.49	昭和51年度					
大学の名称	川崎医療短期大学								備考			
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地				
	年	人	年次 人	人		倍						
看護科	3	120	—	360	短期大学士 (看護)	1.13	昭和48年度	岡山県 倉敷市 松島316番地	平成29年より学生 募集停止			
臨床検査科	3	—	—	—	短期大学士 (臨床検査)	—	昭和48年度					
放射線技術科	3	—	—	—	短期大学士 (放射線技術)	—	昭和52年度					
医療介護福祉科	2	80	—	160	短期大学士 (医療介護福祉)	0.15	平成13年度					
医療保育科	3	—	—	—	短期大学士 (医療保育)	—	平成17年度					

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医療福祉学部 子ども医療福祉学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	稲田 正文 (68)	平成29年4月1日	小児保健Ⅱ						
				発達心理学						
				教育相談						
				基礎ゼミナール						
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(保育所)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(施設)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅱ(保育所・施設)						
子ども医療福祉実践研究Ⅱ										
専	教授	寺田 喜平 (66)	平成31年4月1日	医学一般						
				小児科学						
				子ども医療福祉実践研究Ⅱ						
兼任	講師	寺田 喜平 (64)	平成29年4月1日	医学一般						
				小児科学						
専	教授	田口 豊郁 (63)	平成29年4月1日	生活環境論						
				公衆衛生学						
				医療福祉施設概論						
				労働衛生学						
				労働衛生管理学						
				人間工学						
				基礎ゼミナール						
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(保育所)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(施設)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅱ(保育所・施設)						
				子ども医療福祉実践研究Ⅱ						
専	教授	橋本 勇人 (57)	平成29年4月1日	日本国憲法						
				感覚矯正学概論						
				子ども医療福祉総論						
				現代社会と福祉						
				社会福祉						
				社会保障						
				保健医療サービス						
				権利擁護と成年後見制度						
				児童家庭福祉						
				医療福祉施設概論						
				精神保健福祉相談援助の基礎(基礎)						
				相談援助						
				基礎ゼミナール						
				医療福祉キャリア形成論						
				ソーシャルワーク基礎学修成果演習						
				精神保健福祉学修成果演習						
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(保育所)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(施設)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅱ(保育所・施設)						
				子ども医療福祉実践研究Ⅰ						
子ども医療福祉実践研究Ⅱ										
専	教授	尾崎 公彦 (53)	平成29年4月1日	子どもと表現Ⅰ						
				ユニバーサルデザイン論						
				幼児図画工作						
				基礎ゼミナール						
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(保育所)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(施設)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅱ(保育所・施設)						
				総合表現指導法Ⅰ						
				総合表現指導法Ⅱ						
				子ども医療福祉実践研究Ⅱ						

専	教授	中原 朋生 (48)	平成31年4月1日	子ども医療福祉総論										
				子どもと人間関係										
				幼児生活										
				子どものケアと発達支援の原理										
				カリキュラム編成論										
				教育方法の理論と実践										
									基礎ゼミナール	平成29年4月から教員1名あたりの担当学生を減らし、各学生のニーズに応じたきめ細かい演習を展開するため科目を追加(29)				
				ソーシャルワーク基礎学修成果演習										
				子どものケアと発達支援実習指導ⅠA										
				子どものケアと発達支援実習指導ⅠB										
				子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ(保育所・施設)										
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(保育所)										
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(施設)										
				子どものケアと発達支援実習Ⅱ(保育所・施設)										
教職実践演習(幼稚園)														
子ども医療福祉実践研究Ⅰ														
子ども医療福祉実践研究Ⅱ														
兼任	講師	中原 朋生 (46)	平成29年4月1日	子ども医療福祉総論										
				子どもと人間関係										
				子どものケアと発達支援の原理										
									基礎ゼミナール	平成29年4月から教員1名あたりの担当学生を減らし、各学生のニーズに応じたきめ細かい演習を展開するため科目を追加(29)				
				子どものケアと発達支援実習指導ⅠA										
				子どものケアと発達支援実習指導ⅠB										
				子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ(保育所・施設)										
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(保育所)										
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(施設)										
				子どものケアと発達支援実習Ⅱ(保育所・施設)										
				小児保健Ⅰ										
				救急処置法Ⅰ										
				救急処置法Ⅱ										
				子ども医療福祉実践研究Ⅱ										
専	准教授	萩田 聡子 (60)	平成31年4月1日	小児保健Ⅰ										
				救急処置法Ⅰ										
				救急処置法Ⅱ										
				子ども医療福祉実践研究Ⅱ										
				兼任	講師	萩田 聡子 (58)	平成29年4月1日	小児保健Ⅰ						
専	准教授	笹川 拓也 (45)	平成29年4月1日	福祉行財政と福祉計画										
				地域福祉の理論と方法										
				相談援助										
				家庭支援論										
				基礎ゼミナール										
				子どものケアと発達支援実習指導ⅠA										
				子どものケアと発達支援実習指導ⅠB										
				子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ(保育所・施設)										
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(保育所)										
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(施設)										
				子どものケアと発達支援実習Ⅱ(保育所・施設)										
				子ども医療福祉実践研究Ⅱ										
				専	准教授	中川 智之 (40)	平成29年4月1日	子どもと環境						
								子どもと人間関係						
幼児生活														
教育相談														
教育方法の理論と実践														
基礎ゼミナール														
子どものケアと発達支援実習指導ⅠA														
子どものケアと発達支援実習指導ⅠB														
子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ(保育所・施設)														
教育実習指導														
子どものケアと発達支援実習Ⅰ(保育所)														
子どものケアと発達支援実習Ⅰ(施設)														
子どものケアと発達支援実習Ⅱ(保育所・施設)														
教育実習														
教職実践演習(幼稚園)														
子ども医療福祉実践研究Ⅰ														
子ども医療福祉実践研究Ⅱ														

専	講師	大江 由美 (64)	平成30年4月1日	医療福祉施設概論							
				保育内容総論							
				子どものケアと発達支援者論							
				子どものケアと発達の相談支援							
				障害児のケアと発達支援 I							
				子どもと遊びの指導法(障害児・病児の遊びを含む)							
										基礎ゼミナール	平成29年4月から教員1名あたりの担当学生を減らし、各学生のニーズに応じたきめ細かい演習を展開するため科目を追加(29)
				子どものケアと発達支援実習指導 I A							
				子どものケアと発達支援実習指導 I B							
				子どものケアと発達支援実習指導 II (保育所・施設)							
				子どものケアと発達支援実習 I (保育所)							
				子どものケアと発達支援実習 II (保育所・施設)							
発達障害児のケアと発達支援実習											
子ども医療福祉実践研究 II											
兼任	講師	大江 由美 (63)	平成29年4月1日	保育内容総論							
										基礎ゼミナール	平成29年4月から教員1名あたりの担当学生を減らし、各学生のニーズに応じたきめ細かい演習を展開するため科目を追加(29)
				子どものケアと発達支援実習指導 I A							
専	講師	宮津 澄江 (63)	平成30年4月1日	子どもと健康							
				小児保健Ⅲ							
				子ども医療福祉総論							
				健康相談							
				救急処置法Ⅱ							
				小児ケア方法論							
				子どものケアと発達支援実習 I (保育所)							
				子どものケアと発達支援実習 I (施設)							
				子どものケアと発達支援実習 II (保育所・施設)							
				小児ケア実習 I							
				小児ケア実習 II							
				子ども医療福祉実践研究 II							
兼任	講師	宮津 澄江 (62)	平成29年4月1日	子どもと健康							
専	講師	岡田 恵子 (58)	平成29年4月1日	社会的養護							
				社会的養護内容							
				基礎ゼミナール							
				ソーシャルワーク基礎学修成果演習							
				子どものケアと発達支援実習指導 I A							
				子どものケアと発達支援実習指導 I B							
				子どものケアと発達支援実習指導 II (保育所・施設)							
				子どものケアと発達支援実習 I (保育所)							
				子どものケアと発達支援実習 I (施設)							
				子どものケアと発達支援実習 II (保育所・施設)							
子ども医療福祉実践研究 II											
専	講師	青井 則子 (58)	平成29年4月1日	子どもと表現 I							
				幼児音楽							
				音楽療法							
				基礎ゼミナール							
				子どものケアと発達支援実習 I (保育所)							
				子どものケアと発達支援実習 I (施設)							
				子どものケアと発達支援実習 II (保育所・施設)							
				総合表現指導法 I							
総合表現指導法 II											
子ども医療福祉実践研究 II											

専	講師	森本 寛訓 (46)	平成31年4月1日	小児保健Ⅱ						
				教育相談						
									基礎ゼミナール	平成29年4月から教員1名あたりの担当学生を減らし、各学生のニーズに応じたきめ細かい演習を展開するため科目を追加(29)
				子どものケアと発達支援実習指導ⅠA						
				子どものケアと発達支援実習指導ⅠB						
				子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ(保育所・施設)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(保育所)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(施設)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅱ(保育所・施設)						
				小児ケア実習Ⅰ						
小児ケア実習Ⅱ										
				子ども医療福祉実践研究Ⅱ						
兼任	講師	森本 寛訓 (44)	平成29年4月1日	小児保健Ⅱ						
									基礎ゼミナール	平成29年4月から教員1名あたりの担当学生を減らし、各学生のニーズに応じたきめ細かい演習を展開するため科目を追加(29)
				子どものケアと発達支援実習指導ⅠA						
				子どものケアと発達支援実習指導ⅠB						
				子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ(保育所・施設)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(保育所)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(施設)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅱ(保育所・施設)						
				小児ケア実習Ⅰ						
専	講師	重松 孝治 (42)	平成31年4月1日	心身の発達と学習過程						
				子ども医療福祉総論						
				障害児のケアと発達支援Ⅰ						
				障害児のケアと発達支援Ⅱ						
				発達障害児のケアと発達支援Ⅰ						
				発達障害児のケアと発達支援Ⅱ						
									基礎ゼミナール	平成29年4月から教員1名あたりの担当学生を減らし、各学生のニーズに応じたきめ細かい演習を展開するため科目を追加(29)
				子どものケアと発達支援実習指導ⅠA						
				子どものケアと発達支援実習指導ⅠB						
				子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ(保育所・施設)						
子どものケアと発達支援実習Ⅰ(保育所)										
子どものケアと発達支援実習Ⅰ(施設)										
子どものケアと発達支援実習Ⅱ(保育所・施設)										
発達障害児のケアと発達支援実習										
兼任	講師	重松 孝治 (40)	平成29年4月1日	子ども医療福祉総論						
				障害児のケアと発達支援Ⅰ						
									基礎ゼミナール	平成29年4月から教員1名あたりの担当学生を減らし、各学生のニーズに応じたきめ細かい演習を展開するため科目を追加(29)
				子どものケアと発達支援実習指導ⅠA						
				子どものケアと発達支援実習指導ⅠB						
				子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ(保育所・施設)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(保育所)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅰ(施設)						
				子どものケアと発達支援実習Ⅱ(保育所・施設)						

専	講師	伊藤 智里 (41)	平成29年4月1日	子どもと表現 I						
				子どもと言葉						
				ユニバーサルデザイン論						
				幼児生活						
				幼児図画工作						
				基礎ゼミナール						
				子どものケアと発達支援実習指導 I A						
				子どものケアと発達支援実習指導 I B						
				子どものケアと発達支援実習指導 II (保育所・施設)						
				教育実習指導						
				子どものケアと発達支援実習 I (保育所)						
				子どものケアと発達支援実習 I (施設)						
				子どものケアと発達支援実習 II (保育所・施設)						
				教育実習						
				総合表現指導法 I						
総合表現指導法 II										
子ども医療福祉実践研究 II										
専	講師	入江 慶太 (40)	平成29年4月1日	子どもと健康						
				心理学理論と心理的支援						
				保育の心理学						
				子どもと人間関係						
				保育内容総論						
				乳児のケアと発達支援 I						
				乳児のケアと発達支援 II						
				幼児理解の理論と方法						
				子ども遊びの指導法(障害児・病児の遊びを含む)						
				基礎ゼミナール						
				医療福祉キャリア形成論						
				ソーシャルワーク基礎学修成果演習						
				子どものケアと発達支援実習指導 I A						
				子どものケアと発達支援実習指導 I B						
				子どものケアと発達支援実習指導 II (保育所・施設)						
				子どものケアと発達支援実習 I (保育所)						
				子どものケアと発達支援実習 I (施設)						
				子どものケアと発達支援実習 II (保育所・施設)						
教職実践演習(幼稚園)										
総合表現指導法 I										
総合表現指導法 II										
子ども医療福祉実践研究 I										
子ども医療福祉実践研究 II										
専	講師	根来 麻子 (36)	平成29年4月1日	文章表現						
				幼児国語						
専	助教	松本 優作 (33)	平成30年4月1日	精神保健福祉に関する制度とサービス						
				精神障害者の生活支援システム						
				精神保健福祉の理論と相談援助の展開						
				精神保健の課題と支援 I						
				精神保健福祉援助演習 I						
				精神保健福祉援助演習 II						
				精神保健福祉学修成果演習						
				精神保健福祉援助実習指導 I						
				精神保健福祉援助実習指導 II						
				精神保健福祉援助実習指導 III						
				精神保健福祉援助実習						
				子どものケアと発達支援実習 I (保育所)						
				子どものケアと発達支援実習 I (施設)						
				子どものケアと発達支援実習 II (保育所・施設)						
				子ども医療福祉実践研究 II						

兼任	教授	飯田 淳子 (45)	平成29年4月1日	人類学						
兼任	教授	平岡 崇 (45)	平成29年4月1日	リハビリテーション総論						
					兼任	教授	塩見 将志 (45)	平成29年4月1日	感覚矯正学概論	平成29年4月から教育内容の充実を図るため、兼任教員を追加(29)
兼任	准教授	伊藤 隆男 (62)	平成29年4月1日	基礎英語 I 基礎英語 II						
兼任	准教授	澤原 光彦 (59)	平成30年4月1日	精神医学 I 精神医学 II						
兼任	准教授	田中 順子 (58)	平成29年4月1日	健康と音楽						
兼任	准教授	竹中 麻由美 (57)	平成30年4月1日	相談援助の理論と方法 I 医療ソーシャルワーク論 II						
兼任	准教授	諏訪 利明 (57)	平成30年4月1日	心身の発達と学習過程 自閉症概論 幼児理解の理論と方法						
兼任	准教授	山内 泰子 (56)	平成29年4月1日	生命倫理学 生命科学						
兼任	准教授	田並 尚恵 (50)	平成29年4月1日	社会学						
兼任	准教授	福島 康弘 (44)	平成29年4月1日	ボランティア入門 労働生理学 環境生理学						
兼任	講師	秦 久美子 (57)	平成29年4月1日	ヒューマンセクシャリティー論						
兼任	講師	朱 容仁 (45)	平成29年4月1日	健康体育実技(スポーツ系) 健康体育実技(レクリエーション系)						
兼任	講師	植松 章子 (44)	平成29年4月1日	コンピュータ基礎演習						
兼任	講師	谷川 智宏 (43)	平成29年4月1日	情報学概論						
兼任	講師	小池 大介 (42)	平成29年4月1日	コンピュータ活用演習						
兼任	講師	西脇 藍 (40)	平成29年4月1日	医療福祉の歴史						
兼任	講師	藤原 有子 (39)	平成29年4月1日	健康体育基礎演習 健康体育実技(レクリエーション系)						
兼任	講師	下田(山本) 茜 (37)	平成30年4月1日	自閉症概論						
兼任	講師	藤野 雅広 (36)	平成29年4月1日	健康体育基礎理論 健康体育基礎演習						
兼任	講師	平田(森) 智子 (35)	平成29年4月1日	経済学						
兼任	講師	小田桐 早苗 (35)	平成30年4月1日	自閉症概論						
					兼任	助教	後藤 大輔 (30)	平成29年4月1日	子どもと健康	平成29年4月から各学生に応じたきめ細かな指導をするため、兼任教員を追加(29)
兼任	講師	栗坂 節子 (70)	平成30年4月1日	労働法規 I 労働法規 II						
兼任	講師	山田 陽子 (68)	平成30年4月1日	子どものケアと発達支援実習指導 I 日 子どものケアと発達支援実習指導 II (保育所・施設) 子どものケアと発達支援実習 I (保育所) 子どものケアと発達支援実習 II (保育所・施設) 発達障害児のケアと発達支援実習						
兼任	講師	黒田 とも子 (67)	平成30年4月1日	子どものケアと発達支援実習指導 I 日 子どものケアと発達支援実習指導 II (保育所・施設)						
兼任	講師	秋政 邦江 (67)	平成30年4月1日	幼児体育 子どもと表現 II						
兼任	講師	谷本 泰正 (64)	平成29年4月1日	化学						
兼任	講師	難波 利恵子 (64)	平成30年4月1日	子どものケアと発達支援実習指導 I 日 子どものケアと発達支援実習指導 II (保育所・施設) 子どものケアと発達支援実習 I (保育所) 子どものケアと発達支援実習 II (保育所・施設) 発達障害児のケアと発達支援実習						

兼任	講師	平松 愛子 (64)	平成30年4月1日	乳児のケアと発達支援 I																
				子どものケアと発達支援実習指導 I B																
				子どものケアと発達支援実習指導 II (保育所・施設)																
				子どものケアと発達支援実習 I (保育所)																
				子どものケアと発達支援実習 II (保育所・施設)																
兼任	講師	阿部 利則 (63)	平成29年4月1日	発達障害児のケアと発達支援実習																
				統計学																
				教育実習指導																
				教職実践演習(幼稚園)																
				音楽療法																
兼任	講師	児山 香 (60)	平成29年4月1日	子どものケアと発達支援実習指導 I A																
				子どものケアと発達支援実習指導 I B																
兼任	講師	守安 由美子 (59)	平成29年4月1日	音楽療法																
				子どものケアと発達支援実習指導 I A																
				子どものケアと発達支援実習指導 I B																
兼任	講師	本郷 美紀子 (57)	平成29年4月1日	幼児音楽																
				音楽療法																
				子どものケアと発達支援実習指導 I A																
兼任	講師	武田 朋子 (56)	平成29年4月1日	子どものケアと発達支援実習指導 I B																
				音楽療法																
				子どものケアと発達支援実習指導 I A																
兼任	講師	土田 耕司 (56)	平成30年4月1日	子どものケアと発達支援実習指導 I B																
				障害者福祉論																
				低所得者に対する支援と生活保護制度																
				精神保健福祉援助演習 I																
				精神保健福祉援助演習 II																
				障害児のケアと発達支援 I																
				障害児のケアと発達支援 II																
				精神保健福祉援助実習指導 I																
				精神保健福祉援助実習指導 II																
				精神保健福祉援助実習指導 III																
兼任	講師	布施 光子 (54)	平成29年4月1日	精神保健福祉援助実習																
				音楽療法																
				子どものケアと発達支援実習指導 I A																
兼任	講師	阿部 裕美 (53)	平成30年4月1日	子どものケアと発達支援実習指導 I B																
				小児看護学																
				小児ケア実習 I																
兼任	講師	諏訪 英広 (49)	平成31年4月1日	小児ケア実習 II																
				子どもの教育制度																
兼任	講師	山田 順子 (46)	平成30年4月1日	子どものケアと発達支援実習指導 I (施設)																
				子どものケアと発達支援実習 II (保育所・施設)																
兼任	講師	橋本 彩子 (45)	平成30年4月1日	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)																
				精神保健の課題と支援 II																
				精神保健福祉援助演習 I																
				精神保健福祉援助演習 II																
				教育相談																
				精神保健福祉援助実習指導 I																
				精神保健福祉援助実習指導 II																
				精神保健福祉援助実習指導 III																
兼任	講師	安達 保雄 (45)	平成30年4月1日	精神保健福祉援助実習																
				子どものケアと発達支援者論																
兼任	講師	渡邊 祐三 (45)	平成30年4月1日	子どものケアと発達支援実習指導 I B																
				子どものケアと発達支援実習指導 II (保育所・施設)																
兼任	講師	高木 健志 (45)	平成32年4月1日	精神保健福祉援助実習指導 II																
				精神保健福祉援助実習指導 III																
				精神保健福祉援助実習																
兼任	講師	井上 貴博 (44)	平成31年4月1日	救急処置法 II																
兼任	講師	樟本 千里 (43)	平成29年4月1日	発達心理学																
				学習心理学																
				幼児理解の理論と方法																
兼任	講師	河邊 聡子 (41)	平成29年4月1日	小児栄養 I																
				小児栄養 II																
兼任	講師	伊達 希久子 (40)	平成29年4月1日	子どもと表現 I																
				幼児音楽																
				音楽療法																
				子どものケアと発達支援実習指導 I A																
				子どものケアと発達支援実習指導 I B																

兼任	講師	中野 宏美 (40)	平成29年4月1日	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導 I A 子どものケアと発達支援実習指導 I B						
兼任	講師	所司 都八紀 (39)	平成29年4月1日	子どもと表現 I 幼児音楽 音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導 I A 子どものケアと発達支援実習指導 I B						
兼任	講師	井上 千穂 (36)	平成31年4月1日	救急処置法 II						
					兼任	講師	梶井 里恵 (32)	平成29年4月1日	小児栄養 II	平成29年4月から調理 演習時の事故防止と、 きめ細かな指導のため 兼任教員を追加(29)

(注)・申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
6	3	9	2	20	4	2	5	0	11	6	3	9	2	20
(4)	(2)	(5)	(0)	(11)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授・准教授 65 講師・助教 60 歳	1 名	7 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし								
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
該当なし	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
該当なし	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A） + （C）				後任補充状況の集計（B） + （D）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
該当なし	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	医療技術学部リハビリテーション学科理学療法専攻、作業療法専攻の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	1. 平成29年度入試では、歩留を考慮しつつより厳密に合格者数の調整を行った結果、理学療法専攻、作業療法専攻ともに入学定員超過率は1.13倍となり、定員超過(1.3倍以上)を是正している。	1. 過去4年間の平均入学定員超過率については、理学療法専攻が1.30倍、作業療法専攻が1.33倍であり、両専攻ともに依然として定員超過(1.3倍以上)を是正できていないため、平成30年度の入試においても合格者数の厳密な調整を行い、適正な平均入学定員超過率となるように努める。
設置時 (28年7月)	医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科及び川崎医療短期大学医療介護福祉科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	<p>【医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科】</p> <p>1. 平成29年度入試より3施設(本学・川崎医療短期大学・川崎リハビリテーション学院)合同入試を開始し、専願以外の入試区分(推薦入試後期、一般入試前期・後期)において、3施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大した。</p> <p>2. 他校との差別化を図るために、デザイン・情報の価値創造と問題解決ができる人材の養成に特化したカリキュラムに変更し、それを強調した広報活動をよりシステムティックに展開した。</p> <p>3. これらにより平成29年度入試における医療福祉デザイン学科及び医療情報学科の入学定員超過率は、それぞれ0.72倍及び0.81倍となり、両学科ともに定員未充足(0.7倍未満)を是正している。</p> <p>【川崎医療短期大学医療介護福祉科】</p> <p>1. 平成29年度入試より3施設(本学・川崎医療福祉大学・川崎リハビリテーション学院)合同入試を開始し、専願以外の入試区分(推薦入試後期、一般入試前期・後期)において、3施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大した。</p> <p>2. 他校との差別化を図るためにリハビリ等の医療系の科目を授業に取り入れ、福祉施設、病院どちらも活躍できる人材を育成した。</p> <p>3. 本学医療介護福祉科をより理解してもらうために、高校生、高校の教員などを対象とした公開授業を実施した。また、アンケートを通じて、高校生、高校の教員が本学医療介護福祉科に期待すること等の調査・情報収集を行った。</p> <p>4. 卒業生の就職先の幅を広げるために病院を始めとした医療機関にも就職先を確保する努力とその成果の発信に努めた。</p>	<p>【医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科】</p> <p>1. 過去4年間の平均入学定員超過率については、医療福祉デザイン学科が0.52倍、医療情報学科が0.65倍であり、両学科ともに依然として定員未充足(0.7倍未満)を是正できていない。適正な平均入学定員超過率とするために、以下の4つの計画を実行する。</p> <p>1) 3施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集人員の見直しを行う。</p> <p>2) 医療福祉デザイン学科では将来の職業に繋がる研究会を立ち上げており、これを大きく広報する役割も担った講演会を開催する。</p> <p>3) 当該学科で取得可能な専門資格について、高校訪問等で情報提供することに尽力する。</p> <p>4) Webや冊子の両面から広告掲載を充実させ、高校生が多方面から情報を得ることができるよう広報活動を充実させる。</p> <p>【川崎医療短期大学医療介護福祉科】</p> <p>1. 3施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集定員、高校訪問等の見直しを検討する。</p> <p>2. 公開授業のアンケートを通じて、得られた情報を分析し本学科の今後の在り方に反映する。</p> <p>3. 就職先での本学卒業生の評価の調査と調査結果をフィードバックすることにより教育内容等をチェックし、地域社会に貢献できる、より有用な人材を育成する。</p> <p>4. 学生の要望に沿ったキャリア教育及びそれにより得られた成果の外部への効果的な発信を行う。</p>

<p>設置時 (28年7月)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。(子ども医療福祉学科)</p>	<p>留意事項</p>	<p>定年規程の趣旨を踏まえた教員組織編制の将来構想のために、学長、副学長、事務部長、教務課長、庶務課長、学科長、副学科長を交えた議論の場を設定し、退職年齢を超える専任教員の後任となる若手教員の採用構想について、議論を進めている。</p>	<p>定年年齢延長の教員の後任については、職階・学位・専門職種等に配慮しながら、原則として本学定年規定内の教員をもって採用していくこと等により順次解消していく。また、今後の採用は、原則として若手教員とし、教員組織全体の若返りを図り、課題を解決していく計画である。</p>
------------------------	---	-------------	---	---

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<医療福祉学部 子ども医療福祉学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成16年5月 FD委員会を設置 平成18年4月 FD・SD委員会に名称変更 ※FD・SD委員会規程は別途添付</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>年間 8 回開催（委員は教員6名と事務職員3名で構成）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD・SD研修会について 教員相互の授業参観について 卒業生へのアンケートについて 等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD・SD研修会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 卒業生へのアンケート <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD・SD研修会 全学の教職員を対象として、主としてFD活動の先駆的に取組んでいる大学・学部や研究組織あるいは大学内での先行学科等の教職員やスタッフを招いて、総括的な話題や具体的な事例等について講演を聴き、自由形式の意見交換を行うことで、授業改善などに役立てている。 その他、FD・SD委員会共催による活動として知的財産、利益相反等の研究活動関連、ハラスメント等に関する研修会を行い、業務領域の知見の獲得を目指している。 ・ 教員相互の授業参観 教員相互の授業参観の実態について学期末ごとに全学科の調査を行っている。 また、授業評価アンケートの結果、学生の満足度が高い授業について公開授業を行っている。 ・ 卒業生へのアンケート 学部卒業年次生を対象に、在学中の教育について18項目のアンケートを1月から卒業式までの間に実施している。
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・ F D ・ S D 研修会

平成16年度から毎年2回開催している。

・平成28年8月「ポートフォリオ評価と学習者の変容」（参加教員175名）

・平成29年3月「多職種連携について」「ポートフォリオの取り組み」（参加者197名）

・ 教員相互の授業参観

平成18年度から学期ごとに毎年調査を実施しており、平成28年度は春学期に延べ200件、秋学期は延べ250件の授業が参観されている。

・ 卒業生へのアンケート

平成18年度から毎年実施しており、結果については学科長に周知するとともに、報告書をポータルサイトで公開している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

継続的なF D ・ S D 研修会を定着することで、特に平成28年度はアクティブラーニング、ポートフォリオの事例についての研修を行い、それぞれの授業改善に結びつけるとともに、授業評価の体制を見直していく契機とすることができた。また、学科独自のF D 活動と有機的な結合を図っている。

教員相互の授業参観についても、授業評価アンケートの結果、学生の満足度が高い授業のねらいなどを紹介するとともに、該当授業を公開することで教授力の向上に役立てている。

今後は、卒業生アンケートや授業評価アンケートなどのデータを蓄積し、長期的・統一的な視野から分析することによって、総合的かつより実践的な教育改善計画を策定していく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学部について、春学期末（7月中下旬）に全ての「演習・実習科目」、秋学期末（1月中下旬）に全ての「講義科目」に対して、該当する全ての授業科目で、マークシートによるアンケート調査を実施している。また、翌年度は春学期末に「講義科目」、秋学期末に「演習・実習科目」を入れ替えて実施する。

大学院については年度末（1月中下旬）に専攻ごと、カリキュラム全体について、マークシートによるアンケート調査を実施している。

b 教員や学生への公開状況，方法等

科目毎の評価結果と学生からの自由記述について、教員個人にフィードバックしている。

また、全体結果と分析については報告書として作成し学内図書館で閲覧可能とし、Web上でも公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
子ども医療福祉学科は、精神保健福祉に関する知識と医療・健康といった知識をベースに、ソーシャルワークとケアワークの双方の技能を身につけ、病児・病後児、発達障害児を含むすべての子どもの支援ができる人材を養成する目的で設置された。
初年度の現段階では、効果的に初年次教育を行うため、本学の教育目標と教育目標に基づく教育課程の編成・実施方針を理解させることや総合医療福祉施設における研修を全学共通で取り組んだところである。
また、履修計画としては基礎教育科目と学科専門科目における基礎分野の科目が中心に展開されており、2年次以降の各専門分野の履修に繋ぐことができるよう段階的な教育を行っている。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表時期
- ・平成17年3月(平成15・16年度分)、平成18年3月(平成17・18年度分)、平成21年3月(平成19・20年度分)、平成24年5月(平成21・22・23年度分)、平成27年11月(平成24・25年度分)、平成28年7月(平成26・27年度分)公表
- b 公表方法
- ・自己点検・評価報告書を刊行し、学外諸機関に送付するとともに、学内の各所属長に配布した。
 - ・平成20年4月から、本学ホームページ上に公開している。
- ③ 認証評価を受ける計画
- ・財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、平成26年10月大学基準に適合していると認定された(認定期間は平成34年3月31日まで)。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成29年 7月 31日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 川崎学園

(2) 大学名

川崎医療福祉大学

(3) 大学の位置

〒701-0193
岡山県倉敷市松島288番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カワサキ セイジ) 川崎 誠治 (平成24年3月)		
学長	(ツバハラ アキオ) 椿原 彰夫 (平成25年1月)		
学部長	(オノデラ ショウ) 小野寺 昇 (平成27年4月)		
学科長等	(トオヤマ カオル) 通山 薫 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療技術学部 臨床検査学科 学士 (臨床検査学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	60人	- 年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 (-) []	人 (-) []	人 (-) []	人 (-) []	人 (-) []	人 (-) []	人 60 (-) [-]	人 (-) [-]	1.15倍	
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	555 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	546 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	114 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	69 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	-		-		-		1.15			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	69 (—)	— [—] (—)		
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)		
3年次			/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次					/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
計			— [—] (—)	— [—] (—)			— [—] (—)	— [—] (—)	69 (—)	— [—] (—)

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	- 人	0 人	平成26年度	- 人	- 人		%
			平成27年度	- 人	- 人		
			平成28年度	- 人	- 人		
			平成29年度	- 人	- 人		
平成27年度 入学者	- 人	0 人	平成27年度	- 人	- 人		%
			平成28年度	- 人	- 人		
			平成29年度	- 人	- 人		
平成28年度 入学者	- 人	0 人	平成28年度	- 人	- 人		%
			平成29年度	- 人	- 人		
平成29年度 入学者	69 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	69 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医療技術学部学部 臨床検査学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
医療福祉分野	医療と福祉	1前	1								兼1	
	入門医学概論	1前	2								兼1	
	医療福祉学概論	1後	2								兼1	
	生命倫理学	1後	2								兼1	
基礎教育科目	文章表現	1前	2								兼1	
	医療福祉の歴史	1前後		2							兼1	
	哲学	1前後		2							兼1	
	心理学	1前後		2							兼1	
	日本国憲法	1前後		2							兼1	
	社会学	1前後		2							兼1	
	経済学	1前後		2							兼1	
	数学	1前後		2							兼1	
	統計学	1前後		2							兼1	
	物理学	1前後		2							兼1	
	化学	1前後		2							兼1	
	生物学	1前後		2							兼1	
人類学	1前後		2							兼1		
外国語分野	基礎英語Ⅰ	1前	2								兼2	
	基礎英語Ⅱ	1後	2								兼2	
	英会話	1前後		2							兼1	
	英会話(海外研修)	1前		2							兼1	
	英語リーディング	1前後		2							兼1	

基礎教育科目	健康・体育分野	健康体育基礎理論	1前	2							兼 1	
		健康体育基礎演習	1前	1							兼 2	
		健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1						兼 1	
		健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1						兼 1	
		健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1						兼 2	
	情報分野	コンピュータ基礎演習	1後		2						兼 1	
		コンピュータ活用演習	1前後		2						兼 1	
		情報学概論	1前後		2						兼 1	
	総合分野	異文化理解	1前後		2						兼 1	
		生活環境論	1前		2						兼 1	
		ボランティア入門	1前		2						兼 1	
		生命科学	1前後		2						兼 1	
		健康科学論	1前後		2						兼 1	
		ヒューマンセクシャリティー論	1後		2						兼 1	
		健康と音楽	1後		2						兼 1	
睡眠学		1前後		2						兼 1		
専門基礎分野	人体の構造と機能	1前	1		1							
	解剖組織学	1後	1		1			+			迎由利子（専任講師）退職に伴い、専任教員削除、経験豊富な教員が1名で対応のため支障はない（29）	
	解剖組織学実習	1後	1		1	1		+		兼 1	迎由利子（専任講師）退職に伴い、専任教員削除、経験豊富な教員が1名で対応のため支障はない（29）	
	基礎生理学	1前	1		1							
	感染免疫学	1後	1		2							
	生化学	1後	1					1				
	生化学実習	1後	1		1			1 2		兼 4	2 教員間の科目分担変更のため、上野浩司（専任講師）から榊原佳奈枝（兼担）に教員変更（29）	
	分子生物学	3後	1		1					兼 1		
	基礎科学演習	1前	1		3	1		1 2	1	兼 2	迎由利子（専任講師）退職に伴い、榊原佳奈枝（兼任）、大野佑子（兼任）に教員変更、新任助教であるが技師経験豊富なため支障はない また、実習内容充実のため、近末久美子（専任教授）、陶山洋二（専任教授）、永瀬澄香（専任教授）、鐵原拓雄（専任准教授）を担当教員追加（29）	

専門基礎分野	基礎科学実験	1前	1			1		1			1	1		実習内容充実のため、陶山洋二（専任教授）を教員追加(29)
	医学概論	1後	1			2							兼 1	
	医学英語	2後	1										兼 1	
	病理学総論	1後	1			1							兼 1	
	病理学各論	2前	1			1							兼 1	
	医学検査学入門	1前	1			1	1		+				兼 1	迎由利子（専任講師）退職に伴い、神原佳奈枝（兼任）に教員変更、血液分野での経験は豊富なため支障はない(29)
	公衆衛生学	3前	1			2							兼 1	
	公衆衛生学実習	3前後	1			1							兼 4	
	医療関係法規	4前	1			1								
	チーム医療概論	4前	2			1			1				兼 13	
	医療統計学	1後	1			1								
	情報科学概論	1後	1			1								
	情報科学演習	1後	1			1								
	医療工学演習	1後	1			1			2					
専門分野	臨床病態学総論	2前	1			2							兼 2	
	臨床病態学各論	2後	1			2							兼 2	
	臨床病態学演習Ⅰ	4後	2			7	1		2 3		1		兼 10	迎由利子（専任講師）退職に伴い、専任教員削除、現科目担当で補充のため支障はない(29)
	臨床病態学演習Ⅱ	4後	2			5	1		2 3				兼 5	迎由利子（専任講師）退職に伴い、専任教員削除、現科目担当で補充のため支障はない(29)
	血液検査学	2前	1			1			+				兼 2	迎由利子（専任講師）退職に伴い、専任教員削除、現科目担当で補充のため支障はない(29)
	臨床血液学	3前	1			1							兼 1	
	血液検査学実習	2前	2			1			+				兼 3	迎由利子（専任講師）退職に伴い、専任教員削除、現科目担当で補充のため支障はない(29)
	血液検査学臨床実習	3前後	2						+				兼 1	迎由利子（専任講師）退職に伴い、専任教員削除、現科目担当で補充のため支障はない(29)
	病理検査学	2後	1			1	1		+				兼 1	迎由利子（専任講師）退職に伴い、専任教員削除、後任採用予定のため支障はない(29)
	病理検査学実習	2後	2			1	1		+				兼 1	迎由利子（専任講師）退職に伴い、専任教員削除、後任採用予定のため支障はない(29)
	病理検査学臨床実習	3前後	2						+				兼 1	迎由利子（専任講師）退職に伴い、専任教員削除、後任採用予定のため支障はない(29)
	細胞検査学	2後	1			1	1							

専門科目	専門分野	細胞検査学実習	4後		1		1	1				兼 1		
		一般検査学	2前	1			1		1					
		一般検査学実習	2前	2			1		1				兼 2	
		一般検査学臨床実習	3前後	2			1		1				兼 1	
		臨床化学 I	2前	1			2							
		臨床化学実習	2前	2			2		1				兼 2	
		臨床化学臨床実習	3前後	2			1		1				兼 1	
		臨床化学 II	4前	1			2							
		免疫・輸血検査学	2後	1			1		1				兼 2	
		免疫・輸血検査学実習	2後	2			1		1				兼 2	
		免疫・輸血検査学臨床実習	3前後	2			1		1				兼 1	
		医動物学演習	2後	1			1						兼 2	
		臨床微生物学	2後	1			2						兼 1	
		臨床微生物学実習	2後	2			1						兼 2	
		臨床微生物学臨床実習	3前後	2			1						兼 1	
		循環・呼吸機能検査学	2前	1					1				兼 2	
		循環・呼吸機能検査学実習	2前	1					1				兼 2	
		循環・呼吸機能検査学臨床実習	3前後	2					1				兼 1	
		神経生理検査学	2後	1					1				兼 1	
		超音波検査学	2後	1					1				兼 1	
		神経生理・超音波検査学実習	2後	1					1				兼 1	
		超音波検査学臨床実習	3前後	1					1				兼 2	
		神経生理検査学臨床実習	3前後	1					1				兼 1	
内視鏡・超音波検査学実習	4後		1								兼 1			
検査機器総論	2後	1				1		1				迎由利子（専任講師）退職に伴い、専任教員削除、現科目担当者で補充のため支障はない（29）		
臨床検査基礎演習	1後	1				4		1			兼 1	迎由利子（専任講師）退職に伴い、清蔭恵美（専任教授）と大野佑子（兼任）に教員変更、経験豊富な教員のため支障はない（29）		
臨床実習導入演習	3前	2				5	1	3	1		兼 8	迎由利子（専任講師）退職に伴い、専任教員削除、現科目担当者で補充のため支障はない（29）		
検査総合管理学 I	3前	1				1					兼 2			

専門科目	専門分野	検査総合管理学Ⅱ	4前	1		1	1		兼 4	
		検査総合管理学実習	3前後	1		1	1		兼 1	
		医療安全管理学	3後	1		1			兼 4	
		救命救急医学	3後		2				兼 1	
		検査総合臨地実習	3前後	7					兼 2	
		卒業研究	4前	6		7	1	2 3	1	迎由利子（専任講師）退職に伴い、 専任教員削除、現担当者で補充のため 支障はない（29）
		卒業課題研究	4後		4	7	1	2 3	1	迎由利子（専任講師）退職に伴い、 専任教員削除、現担当者で補充のため 支障はない（29）
医学検査学詳説	4後		4	4	1	2 3	1	兼 1 迎由利子（専任講師）退職に伴い、 専任教員削除、現担当者で補充のため 支障はない（29）		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
75	34	0	109	75	34	0	109	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{109} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	川崎医療短期大学（必要校地面積10,300.00㎡）と共用（収容定員1,030人）		
	校舎敷地	27,269.00㎡	2,224.19㎡	4,233.66㎡	33,726.85㎡			
	運動場用地	39,088.00㎡	0.00㎡	11,610.00㎡	42,788.00㎡			
	小 計	66,357.00㎡	2,224.19㎡	15,843.66㎡	84,424.85㎡			
	そ の 他	65,119.00㎡	0.00㎡	34,029.83㎡	99,148.83㎡			
	合 計	131,476.00㎡	2,224.19㎡	49,873.49㎡	183,573.68㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	川崎医療短期大学（必要校舎面積10,400.00㎡）と共用（収容定員1,030人）			
	79,854.22㎡ (79,854.22㎡)	1,646.11㎡ (1,646.11㎡)	14,427.50㎡ (14,427.50㎡)	95,927.83㎡ (95,927.83㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室等の使用用途を一部変更したため(29)大学全体		
	48室	46室 44室	135室 138室	2室 (補助職員2人)	2室 (補助職員1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			申請学科全体1室を2人を使用する場合がある。		
	医療技術学部 臨床検査学科		12 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	教育環境を充実させるため(29)申請学科全体共用図書1,206冊(29)1,420冊
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕				
	医療技術学部 臨床検査学科	7,197 [283]	29 [11]	(9 [9])	31	1,536	6	
		6,462 [267]	27 [10]	7 [7]				
		6,514 [283]	(29 [11])	(9 [9])				
計	(5,804 [267])	(27 [10])	(7 [7])	(31)	(1,536)	(6)		
	7,197 [283]	29 [11]	(9 [9])	31	1,536	6		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体
	2,482.94㎡		606		210,275			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体
	2,995.44㎡		第1 武道場 261.52 ㎡	第2 武道場 262.11 ㎡	温水プール 25 m × 7 コース			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備購入費は新設3学科全体(29)設備の整備に想定より経費がかからなかったため(29)図書購入費は前年度実績により予算を見直したため(29)共同研究費は大学全体図書費には電子ジャーナルデータベースの整備費(運用コスト含む)を含む
		教員1人当たり研究費等	686千円	638千円	図書購入費	一千円	5,090千円 5,072千円	
	共同研究費等	60,000千円	60,000千円	設備購入費	52,238千円 100,000千円	50,000千円	50,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,700千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	一千円	一千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その

理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	川崎医療福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
≪ A C対象学部等 ≫ 医療福祉学部 子ども医療福祉学科	4	80	3年次 2	324	学士 (子ども医療福祉学)	1.01	平成29年度		
医療技術学部 臨床検査学科	4	60	—	240	学士 (臨床検査学)	1.15	平成29年度		
診療放射線技術学科	4	60	—	240	学士 (診療放射線技術学)	1.16	平成29年度		
≪ 既設学部 ≫ 医療福祉学部 医療福祉学科	4	136	3年次 10	564	学士 (医療福祉学)	0.66	平成3年度		
臨床心理学科	4	80	3年次 5	330	学士 (臨床心理学)	0.82	平成3年度		
保健看護学科	4	120	3年次 10	500	学士 (保健看護学)	1.24	平成7年度	岡山県 倉敷市 松島288番地	平成29年度より 100名から120名に入学 定員を変更
医療技術学部 感覚矯正学科						1.18			
視能矯正専攻	4	40	—	160	学士 (感覚矯正学)	1.17	平成3年度		平成29年度より 30名から40名に入学定 員を変更
言語聴覚専攻	4	60	—	240	学士 (感覚矯正学)	1.19	平成3年度		平成29年度より 40名から60名に入学定 員を変更
健康体育学科	4	80	3年次 3	326	学士 (健康体育学)	1.16	平成3年度		平成29年度より 60名から80名に入学定 員を変更
臨床栄養学科	4	50	3年次 3	206	学士 (臨床栄養学)	1.05	平成3年度		
リハビリテーション学科						1.32			
理学療法学科	4	60	—	240	学士 (リハビリテーション学)	1.30	平成7年度		平成29年度より 40名から60名に入学定 員を変更
作業療法学科	4	60	—	240	学士 (リハビリテーション学)	1.33	平成7年度		平成29年度より 40名から60名に入学定 員を変更
臨床工学科	4	80	—	320	学士 (臨床工学)	1.22	平成19年度		平成29年度より 60名から80名に入学定 員を変更

医療福祉マネジメント学部									
医療福祉経営学科	4	60	3年次 2	244	学士 (医療福祉経営学)	0.73	平成17年度		
医療秘書学科	4	60	3年次 2	244	学士 (医療秘書学)	0.61	平成17年度		
医療福祉デザイン学科	4	40	3年次 2	164	学士 (医療福祉デザイン学)	0.52	平成17年度		
医療情報学科	4	60	3年次 3	246	学士 (医療情報学)	0.65	平成17年度		
医療福祉学研究科									
医療福祉学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (医療福祉学)	0.60	平成8年度		
医療福祉学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (医療福祉学)	0.22	平成10年度		
臨床心理学専攻 (修士課程)	2	12	—	24	修士 (臨床心理学)	0.62	平成8年度		
臨床心理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.33	平成10年度		
保健看護学専攻 (修士課程)	2	12	—	24	修士 (保健看護学)	0.50	平成11年度		
保健看護学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (保健看護学)	0.50	平成18年度		
医療技術学研究科									
感覚矯正学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (感覚矯正学)	0.93	平成8年度		
感覚矯正学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (感覚矯正学)	0.16	平成10年度		
健康体育学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (健康体育学)	0.12	平成8年度		
臨床栄養学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (臨床栄養学)	0.31	平成8年度		
リハビリテーション学専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士 (リハビリテーション学)	0.83	平成11年度		
リハビリテーション学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (リハビリテーション学)	0.66	平成13年度		
臨床工学専攻 (修士課程)	2	4	—	8	修士 (臨床工学)	0.25	平成23年度		
臨床工学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (臨床工学)	0.16	平成23年度		
健康科学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (健康科学)	0.83	平成10年度		
								岡山県 倉敷市 松島288番地	

医療福祉マネジメント学研究所												
医療福祉経営学専攻 (修士課程)	2	3	—	6	修士 (医療福祉経営学)	0.00	平成21年度	岡山県 倉敷市 松島288番地				
医療秘書学専攻 (修士課程)	2	2	—	4	修士 (医療秘書学)	1.00	平成21年度					
医療福祉マネジメント学専攻 (修士課程)	2	4	—	8	修士 (医療福祉マネジメント学)	0.00	平成21年度					
医療情報学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (医療情報学)	0.25	平成21年度					
医療情報学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (医療情報学)	0.16	平成21年度					
大学の名称	川崎医科大学								備考			
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地				
	年	人	年次 人	人		倍						
医学部 医学科	6	126	—	696	学士 (医学)	1.02	昭和45年度	岡山県 倉敷市 松島577番地	平成29年度 入学定員変更 (120人→126人) 平成27年度 入学定員変更 (110人→120人)			
医学研究科 医科学専攻	4	25	—	100	博士 (医学)	0.49	昭和51年度					
大学の名称	川崎医療短期大学								備考			
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地				
	年	人	年次 人	人		倍						
看護科	3	120	—	360	短期大学士 (看護)	1.13	昭和48年度	岡山県 倉敷市 松島316番地	平成29年より学生 募集停止			
臨床検査科	3	—	—	—	短期大学士 (臨床検査)	—	昭和48年度					
放射線技術科	3	—	—	—	短期大学士 (放射線技術)	—	昭和52年度					
医療介護福祉科	2	80	—	160	短期大学士 (医療介護福祉)	0.15	平成13年度					
医療保育科	3	—	—	—	短期大学士 (医療保育)	—	平成17年度					

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医療技術学部 臨床検査学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専任	教授	北中 明 (52)	平成29年4月1日	感染免疫学							
				分子生物学							
				医学概論							
				予一△医療概論							
				臨床病態学総論							
				臨床病態学各論							
				臨床病態学演習Ⅰ							
				血液検査学							
				臨床血液学							
				血液検査学実習							
				臨床検査基礎演習							
				卒業研究							
卒業課題研究											
専任	教授	伊禮 功 (51)	平成29年4月1日	病理学総論							
				病理学各論							
				臨床病態学演習Ⅰ							
				病理検査学							
				病理検査学実習							
				卒業研究							
卒業課題研究											
専任	教授	永瀬 澄香 (60)	平成29年4月1日	生化学実習							
				医学概論							
				医療関係法規							
				臨床病態学演習Ⅰ							
				臨床病態学演習Ⅱ							
				臨床化学Ⅰ							
				臨床化学実習							
				臨床化学臨床実習							
				臨床化学Ⅱ							
				臨床実習導入演習							
卒業研究											
卒業課題研究											
医学検査学詳説											
専任	教授	片岡 浩巳 (57)	平成29年4月1日	医療統計学							
				情報科学概論							
				情報科学演習							
				医療工学演習							
				臨床病態学演習Ⅰ							
				臨床病態学演習Ⅱ							
				検査機器総論							
				臨床実習導入演習							
				検査総合管理学Ⅰ							
				検査総合管理学Ⅱ							
				検査総合管理学実習							
				医療安全管理学							
				卒業研究							
卒業課題研究											
医学検査学詳説											
専任	教授	清蔭 恵美 (52)	平成29年4月1日	人体の構造と機能							
				解剖組織学							
				解剖組織学実習							
				基礎生理学							
				臨床病態学演習Ⅰ							
				臨床病態学演習Ⅱ							
				細胞検査学							
				細胞検査学実習							
				臨床実習導入演習							
				卒業研究							
卒業課題研究											

専任	講師	中原 貴子 (43)	平成30年4月1日	生化学							
				生化学実習							
				基礎科学演習							
				基礎科学実験							
				臨床病態学演習 I							
				臨床病態学演習 II							
				免疫・輸血検査学							
				免疫・輸血検査学実習							
				免疫・輸血検査学臨床実習							
				検査機器総論							
				臨床検査基礎演習							
				臨床実習導入演習							
				検査総合管理学 II							
				検査総合管理学実習							
				卒業研究							
卒業課題研究											
医学検査学詳説											
兼任	講師	中原 貴子 (42)	平成29年4月1日	生化学							
				生化学実習							
				基礎科学演習							
				基礎科学実験							
				臨床検査基礎演習							
専任	講師	迎 由利子 (36)	平成29年4月1日	解剖組織学						迎由利子(専任講師)退職に伴い、清陸恵美(専任教員)1名で担当、経験豊富な教員のため支障はない(29)	
				解剖組織学実習						迎由利子(専任講師)退職に伴い、清陸恵美(専任教員)、鏡原拓雄(専任教員)、岩知道伸久(兼任)の3名で担当、すべて経験豊富な教員のため支障はない(29)	
				基礎科学演習	兼任	講師	榊原 佳奈枝 (35)	平成29年4月1日	基礎科学演習	迎由利子(専任講師)退職に伴い、榊原佳奈枝(兼任)、大野佑子(兼任)に教員変更、新任助教ではあるが技師経験が豊富なため支障はない、新任助教の指導意図もある(29)	
					兼任	講師	大野 佑子 (30)	平成29年4月1日	基礎科学演習		
				医学検査学入門	兼任	講師	榊原 佳奈枝 (35)	平成29年4月1日	医学検査学入門	迎由利子(専任講師)退職に伴い、榊原佳奈枝(兼任)に教員変更、血液に関する技師経験が豊富なため支障はない(29)	
				臨床病態学演習 I			後任未定				
				臨床病態学演習 II			後任未定				
				血液検査学			後任未定				
				血液検査学実習			後任未定			迎由利子(専任講師)退職に伴い、専任教員削減、病理関係科目については、現在、開講年度までに担当教員の新規採用を上申予定、血液関係科目については、現科目担当者で補充可能(29)	
				血液検査学臨床実習			後任未定				
				病理検査学			後任未定				
				病理検査学実習			後任未定				
				病理検査学臨床実習			後任未定				
				検査機器総論			後任未定				
				臨床検査基礎演習	専任	教授	清陸 恵美 (52)	平成29年4月1日	臨床検査基礎演習	迎由利子(専任講師)退職に伴い、清陸恵美(専任教員)と大野佑子(兼任)に教員変更、経験豊富な教員のため支障はない(29)	
					兼任	講師	大野 佑子 (30)	平成29年4月1日	臨床検査基礎演習		
				臨床実習導入演習			後任未定				
				卒業研究			後任未定			迎由利子(専任講師)退職に伴い、専任教員削減、現科目担当者で補充可能(29)	
				卒業課題研究			後任未定				
				医学検査学詳説			後任未定				

専任	講師	上野 浩司 (34)	平成29年4月1日	生化学実習	兼任	講師	神原 佳奈枝 (35)	平成29年4月1日	生化学実習	教員間の科目分担変更のため、上野浩司(専任講師)から榎原佳奈枝(兼任)に教員変更(29)	
				医療工学演習							
				臨床病態学演習 I							
				臨床病態学演習 II							
				循環・呼吸機能検査学							
				循環・呼吸機能検査学実習							
				循環・呼吸機能検査学臨床実習							
				神経生理検査学							
				超音波検査学							
				神経生理・超音波検査学実習							
				超音波検査学臨床実習							
				神経生理検査学臨床実習							
				臨床実習導入演習							
				卒業研究							
卒業課題研究											
医学検査学詳説											
専任	講師	宮崎 仁 (35)	平成29年4月1日	チーム医療概論							
				医療工学演習							
専任	助教	黒住 菜美 (32)	平成31年4月1日	基礎科学演習							
				基礎科学実験							
				臨床病態学演習 I							
				一般検査学							
				一般検査学実習							
				一般検査学臨床実習							
				臨床化学実習							
				臨床化学臨床実習							
				臨床実習導入演習							
				卒業研究							
				卒業課題研究							
医学検査学詳説											
兼任	講師	黒住 菜美 (30)	平成29年4月1日	基礎科学演習							
				基礎科学実験							
				一般検査学							
				一般検査学実習							
				臨床化学実習							
兼任	教授	鈴木 幸一郎 (70)	平成31年4月1日	救命救急医学							
兼任	教授	益田 芳樹 (67)	平成29年4月1日	生物学							
兼任	教授	虫明 基 (67)	平成29年4月1日	数学 物理学							
兼任	教授	平井 敏弘 (66)	平成29年4月1日	入門医学概論							
兼任	教授	種村 純 (64)	平成29年4月1日	医療と福祉 医療福祉学概論							
兼任	教授	吉岡 リサ (64)	平成29年4月1日	英会話 英語リーディング							
兼任	教授	田口 豊郁 (63)	平成29年4月1日	生活環境論							
兼任	教授	高尾 俊弘 (60)	平成31年4月1日	公衆衛生学実習							
兼任	教授	柏原 洋子 (59)	平成29年4月1日	基礎英語 I							
				基礎英語 II							
				英会話(海外研修)							
兼任	教授	姜 波 (58)	平成29年4月1日	異文化理解							
兼任	教授	林 明弘 (58)	平成29年4月1日	哲学							
兼任	教授	保野 孝弘 (56)	平成29年4月1日	睡眠学							
兼任	教授	矢野 博己 (51)	平成29年4月1日	健康体育実技(フィットネス系)							
				健康科学論							
兼任	教授	福岡 欣治 (48)	平成29年4月1日	心理学							
兼任	教授	飯田 淳子 (45)	平成29年4月1日	人類学							
兼任	准教授	市川 和子 (64)	平成32年4月1日	チーム医療概論							

兼担	准教授	伊藤 隆男 (62)	平成29年4月1日	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ											
兼担	准教授	北山 彰 (61)	平成32年4月1日	チーム医療概論											
兼担	准教授	田中 順子 (58)	平成29年4月1日	健康と音楽											
兼担	准教授	山内 泰子 (56)	平成29年4月1日	生命倫理学 生命科学											
兼担	准教授	田並 尚恵 (50)	平成29年4月1日	社会学											
兼担	准教授	福島 康弘 (44)	平成29年4月1日	ボランティア入門											
兼担	講師	秦 久美子 (57)	平成29年4月1日	ヒューマンセクシャリティー論											
兼担	講師	朱 容仁 (45)	平成29年4月1日	健康体育実技(スポーツ系) 健康体育実技(レクリエーション系)											
兼担	講師	植松 章子 (44)	平成29年4月1日	コンピュータ基礎演習											
兼担	講師	谷川 智宏 (43)	平成29年4月1日	情報学概論											
兼担	講師	重松 孝治 (43)	平成32年4月1日	チーム医療概論											
兼担	講師	小池 大介 (42)	平成29年4月1日	コンピュータ活用演習											
兼担	講師	西脇 藍 (40)	平成29年4月1日	医療福祉の歴史											
兼担	講師	藤原 有子 (39)	平成29年4月1日	健康体育基礎演習 健康体育実技(レクリエーション系)											
兼担	講師	藤野 雅広 (36)	平成29年4月1日	健康体育基礎理論 健康体育基礎演習											
兼担	講師	根来 麻子 (36)	平成29年4月1日	文章表現											
兼担	講師	平田(森) 智子 (35)	平成29年4月1日	経済学											
兼任	講師	通山 薫 (59)	平成29年4月1日	医学概論											
				チーム医療概論											
				臨床病態学総論											
				臨床病態学各論											
				臨床病態学演習Ⅰ											
				臨床血液学 医療安全管理学											
兼任	講師	畠 二郎 (58)	平成30年4月1日	超音波検査学											
				超音波検査学臨床実習 内視鏡・超音波検査学実習											
				病理学総論 病理学各論											
兼任	講師	森谷 卓也 (57)	平成29年4月1日	臨床病態学演習Ⅰ											
				臨床病態学演習Ⅱ											
				血液検査学 血液検査学実習 血液検査学臨床実習 臨床実習導入演習											
兼任	講師	中桐 逸博 (58)	平成29年4月1日	生化学実習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ											
				免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 免疫・輸血検査学臨床実習 臨床実習導入演習											
				臨床病態学演習Ⅰ 一般検査学臨床実習 臨床化学実習 臨床化学臨床実習 臨床実習導入演習											
				検査総合管理学Ⅰ 検査総合管理学実習											

兼任	講師	大倉 貢 (58)	平成30年4月1日	臨床病態学演習Ⅰ								
				血液検査学								
				血液検査学実習								
				臨床実習導入演習								
				検査総合管理学Ⅰ								
				医療安全管理学								
兼任	講師	小林 博久 (58)	平成31年4月1日	検査総合臨地実習								
				臨床病態学演習Ⅰ								
				臨床病態学演習Ⅱ								
				病理検査学臨床実習								
				細胞検査学実習								
				臨床実習導入演習								
兼任	講師	岡本 年生 (57)	平成30年4月1日	臨床病態学演習Ⅰ								
				臨床病態学演習Ⅱ								
				循環・呼吸機能検査学								
				循環・呼吸機能検査学実習								
				循環・呼吸機能検査学臨床実習								
				神経生理検査学								
				神経生理・超音波検査学実習								
				超音波検査学臨床実習								
				神経生理検査学臨床実習								
				臨床実習導入演習								
				医学検査学詳説								
兼任	講師	河口 豊 (56)	平成30年4月1日	臨床病態学演習Ⅰ								
				臨床病態学演習Ⅱ								
				臨床微生物学								
				臨床微生物学実習								
				臨床微生物学臨床実習								
				臨床実習導入演習								
兼任	講師	見手倉 久治 (48)	平成30年4月1日	医療安全管理学								
				臨床病態学演習Ⅰ								
				免疫・輸血検査学								
				免疫・輸血検査学実習								
				医動物学演習								
兼任	講師	西浦 公 (68)	平成29年4月1日	臨床実習導入演習								
				臨床微生物学臨床実習								
				臨床実習導入演習								
				医療安全管理学								
				免疫・輸血検査学								
				免疫・輸血検査学実習								
兼任	講師	見手倉 久治 (48)	平成30年4月1日	医動物学演習								
				臨床実習導入演習								
				検査総合臨地実習								
				臨床実習導入演習								
				検査総合臨地実習								
兼任	講師	西浦 公 (68)	平成29年4月1日	日本国憲法								
兼任	講師	谷本 泰正 (64)	平成29年4月1日	化学								
兼任	講師	阿部 利則 (63)	平成29年4月1日	統計学								
兼任	講師	二宮 洋子 (61)	平成32年4月1日	子一ム医療概論								
兼任	講師	岩知道 伸久 (49)	平成29年4月1日	解剖組織学実習								
兼任	講師	岩知道 伸久 (49)	平成29年4月1日	病理検査学実習								
兼任	講師	辻岡 貴之 (47)	平成31年4月1日	分子生物学								
兼任	講師	辻岡 貴之 (47)	平成31年4月1日	公衆衛生学実習								
兼任	講師	名木田 恵理子 (65)	平成30年4月1日	医学英語								
兼任	講師	勝山 博信 (58)	平成31年4月1日	公衆衛生学								
兼任	講師	末盛 晋一郎 (48)	平成30年4月1日	公衆衛生学実習								
兼任	講師	末盛 晋一郎 (48)	平成30年4月1日	臨床病態学総論								
兼任	講師	末盛 晋一郎 (48)	平成30年4月1日	臨床病態学各論								
兼任	講師	麓 由起子 (48)	平成31年4月1日	公衆衛生学実習								
兼任	講師	有山 紀代美 (51)	平成32年4月1日	子一ム医療概論								
兼任	講師	安藤 潤子 (47)	平成30年4月1日	一般検査学実習								
兼任	講師	前川 圭子 (47)	平成30年4月1日	一般検査学実習								
兼任	講師	上杉 里枝 (47)	平成30年4月1日	臨床化学実習								
兼任	講師	上杉 里枝 (47)	平成30年4月1日	検査総合管理学Ⅱ								
兼任	講師	沖野 哲也 (57)	平成30年4月1日	医動物学演習								
兼任	講師	田村 昌代 (50)	平成30年4月1日	臨床微生物学実習								
兼任	講師	山本 克紀 (51)	平成30年4月1日	子一ム医療概論								
兼任	講師	山本 克紀 (51)	平成30年4月1日	循環・呼吸機能検査学								

兼任	講師	高橋 和枝 (54)	平成30年4月1日	循環・呼吸機能検査学実習					
兼任	講師	岡本 由美 (61)	平成31年4月1日	検査総合管理学Ⅱ 医療安全管理学					
兼任	講師	青井 陽子 (43)	平成32年4月1日	検査総合管理学Ⅱ					
兼任	講師	舟田 和幸 (61)	平成32年4月1日	検査総合管理学Ⅱ					
兼任	講師	石松 昌己 (49)	平成32年4月1日	チーム医療概論					
兼任	講師	仲井 富久江 (51)	平成32年4月1日	チーム医療概論					
兼任	講師	岡本 操 (53)	平成32年4月1日	チーム医療概論					
兼任	講師	岡崎 希美恵 (53)	平成32年4月1日	チーム医療概論					
兼任	講師	辻 真美 (50)	平成32年4月1日	チーム医療概論					
兼任	講師	樹本 朋子 (57)	平成32年4月1日	チーム医療概論					
兼任	講師	高橋 佳子 (55)	平成30年4月1日	血液検査学実習					

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
9	1	4	1	15	9	1	2	0	12	9	1	3	1	14
(9)	(1)	(3)	(0)	(13)						[0]	[0]	[△1]	[0]	[△1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授・准教授 65 講師・助教 60 歳	2 名	2 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし	必修				
			選択				
			必修				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
該当なし	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	講師	迎 由利子	必修	解剖組織学	③	※家庭の事情及び夫の仕事の都合により辞任 (29)	
			必修	解剖組織学実習	③		
			必修	基礎科学演習	②		
			必修	医学検査学入門	②		
			必修	臨床病態学演習Ⅰ	③		
			必修	臨床病態学演習Ⅱ	③		
			必修	血液検査学	③		
			必修	血液検査学実習	③		
			必修	血液検査学臨床実習	③		
			必修	病理検査学	③		
			必修	病理検査学実習	③		
			必修	病理検査学臨床実習	③		
			必修	検査機器総論	③		
			必修	臨床検査基礎演習	①		
			必修	臨床実習導入演習	③		
			必修	卒業研究	③		
選択	卒業課題研究	③					
選択	医学検査学詳説	③					
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	16 科目	必修	1 科目	必修	2 科目
		選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	18 科目	計	1 科目	計	2 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－①・(3)－②の合計

合計(A)+(C)			後任補充状況の集計(B)+(D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1人	必修	16科目	必修	1科目	必修	2科目	必修	13科目
	選択	2科目	選択	0科目	選択	0科目	選択	2科目
	自由	0科目	自由	0科目	自由	0科目	自由	0科目
	計	18科目	計	1科目	計	2科目	計	15科目

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員(迎 由利子)の辞任理由は、家庭の事情及び夫の仕事の都合によるものでやむを得ないと学科内でも了承された。当該教員が担当予定していた主な科目は、血液関係と病理関係であり、現科目担当者で補えるものに関しては、現担当者でカバーし、補充が必要な場合には、新規に助教2名(榊原佳奈枝・大野佑子)に変更する。助教2名は教員としての経験は浅いが、臨床検査技師としての経験は豊富であり、教授法を学びながら学生指導にあたる。病理関係については新規教員候補がおり、採用を上申する予定である。なお、辞任の決定後、時間割・シラバスから迎 由利子の名前を削除し、学生への周知を図っている。(29)

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	医療技術学部リハビリテーション学科理学療法専攻、作業療法専攻の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	1. 平成29年度入試では、歩留を考慮しつつより厳密に合格者数の調整を行った結果、理学療法専攻、作業療法専攻ともに入学定員超過率は1.13倍となり、定員超過(1.3倍以上)を是正している。	1. 過去4年間の平均入学定員超過率については、理学療法専攻が1.30倍、作業療法専攻が1.33倍であり、両専攻ともに依然として定員超過(1.3倍以上)を是正できていないため、平成30年度の入試においても合格者数の厳密な調整を行い、適正な平均入学定員超過率となるように努める。
設置時 (28年7月)	医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科及び川崎医療短期大学医療介護福祉科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	<p>【医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科】</p> <p>1. 平成29年度入試より3施設(本学・川崎医療短期大学・川崎リハビリテーション学院)合同入試を開始し、専願以外の入試区分(推薦入試後期、一般入試前期・後期)において、3施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大した。</p> <p>2. 他校との差別化を図るために、デザイン・情報の価値創造と問題解決ができる人材の養成に特化したカリキュラムに変更し、それを強調した広報活動をよりシステムティックに展開した。</p> <p>3. これらにより平成29年度入試における医療福祉デザイン学科及び医療情報学科の入学定員超過率は、それぞれ0.72倍及び0.81倍となり、両学科ともに定員未充足(0.7倍未満)を是正している。</p> <p>【川崎医療短期大学医療介護福祉科】</p> <p>1. 平成29年度入試より3施設(本学・川崎医療福祉大学・川崎リハビリテーション学院)合同入試を開始し、専願以外の入試区分(推薦入試後期、一般入試前期・後期)において、3施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大した。</p> <p>2. 他校との差別化を図るためにリハビリ等の医療系の科目を授業に取り入れ、福祉施設、病院どちらでも活躍できる人材を育成した。</p> <p>3. 本学医療介護福祉科をより理解してもらうために、高校生、高校の教員などを対象とした公開授業を実施した。また、アンケートを通じて、高校生、高校の教員が本学医療介護福祉科に期待すること等の調査・情報収集を行った。</p> <p>4. 卒業生の就職先の幅を広げるために病院を始めとした医療機関にも就職先を確保する努力とその成果の発信に努めた。</p>	<p>【医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科】</p> <p>1. 過去4年間の平均入学定員超過率については、医療福祉デザイン学科が0.52倍、医療情報学科が0.65倍であり、両学科ともに依然として定員未充足(0.7倍未満)を是正できていない。適正な平均入学定員超過率とするために、以下の4つの計画を実行する。</p> <p>1) 3施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集人員の見直しを行う。</p> <p>2) 医療福祉デザイン学科では将来の職業に繋がる研究会を立ち上げており、これを大きく広報する役割も担った講演会を開催する。</p> <p>3) 当該学科で取得可能な専門資格について、高校訪問等で情報提供することに尽力する。</p> <p>4) Webや冊子の両面から広告掲載を充実させ、高校生が多方面から情報を得ることができるよう広報活動を充実させる。</p> <p>【川崎医療短期大学医療介護福祉科】</p> <p>1. 3施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集定員、高校訪問等の見直しを検討する。</p> <p>2. 公開授業のアンケートを通じて、得られた情報を分析し本学科の今後の在り方に反映する。</p> <p>3. 就職先での本学卒業生の評価の調査と調査結果をフィードバックすることにより教育内容等をチェックし、地域社会に貢献できる、より有用な人材を育成する。</p> <p>4. 学生の要望に沿ったキャリア教育及びそれにより得られた成果の外部への効果的な発信を行う。</p>

<p>設置時 (28年7月)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。(子ども医療福祉学科)</p>	<p>留意事項</p>	<p>定年規程の趣旨を踏まえた教員組織編制の将来構想のために、学長、副学長、事務部長、教務課長、庶務課長、学科長、副学科長を交えた議論の場を設定し、退職年齢を超える専任教員の後任となる若手教員の採用構想について、議論を進めている。</p>	<p>定年年齢延長の教員の後任については、職階・学位・専門職種等に配慮しながら、原則として本学定年規定内の教員をもって採用していくこと等により順次解消していく。また、今後の採用は、原則として若手教員とし、教員組織全体の若返りを図り、課題を解決していく計画である。</p>
------------------------	---	-------------	---	---

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<医療技術学部 臨床検査学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成16年5月 FD委員会を設置 平成18年4月 FD・SD委員会に名称変更 ※FD・SD委員会規程は別途添付</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>年間 8 回開催（委員は教員6名と事務職員3名で構成）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD・SD研修会について 教員相互の授業参観について 卒業生へのアンケートについて 等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD・SD研修会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 卒業生へのアンケート <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD・SD研修会 全学の教職員を対象として、主としてFD活動の先駆的に取組んでいる大学・学部や研究組織あるいは大学内での先行学科等の教職員やスタッフを招いて、総括的な話題や具体的な事例等について講演を聴き、自由形式の意見交換を行うことで、授業改善などに役立てている。 その他、FD・SD委員会共催による活動として知的財産、利益相反等の研究活動関連、ハラスメント等に関する研修会を行い、業務領域の知見の獲得を目指している。 ・ 教員相互の授業参観 教員相互の授業参観の実態について学期末ごとに全学科の調査を行っている。 また、授業評価アンケートの結果、学生の満足度が高い授業について公開授業を行っている。 ・ 卒業生へのアンケート 学部卒業年次生を対象に、在学中の教育について18項目のアンケートを1月から卒業式までの間に実施している。
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ F D ・ S D 研修会
平成16年度から毎年2回開催している。
 - ・平成28年8月「ポートフォリオ評価と学習者の変容」（参加教員175名）
 - ・平成29年3月「多職種連携について」「ポートフォリオの取り組み」（参加者197名）
- ・ 教員相互の授業参観
平成18年度から学期ごとに毎年調査を実施しており、平成28年度は春学期に延べ200件、秋学期は延べ250件の授業が参観されている。
- ・ 卒業生へのアンケート
平成18年度から毎年実施しており、結果については学科長に周知するとともに、報告書をポータルサイトで公開している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

継続的なF D ・ S D 研修会を定着することで、特に平成28年度はアクティブラーニング、ポートフォリオの事例についての研修を行い、それぞれの授業改善に結びつけるとともに、授業評価の体制を見直していく契機とすることができた。また、学科独自のF D 活動と有機的な結合を図っている。

教員相互の授業参観についても、授業評価アンケートの結果、学生の満足度が高い授業のねらいなどを紹介するとともに、該当授業を公開することで教授力の向上に役立てている。

今後は、卒業生アンケートや授業評価アンケートなどのデータを蓄積し、長期的・統一的な視野から分析することによって、総合的かつより実践的な教育改善計画を策定していく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学部について、春学期末（7月中下旬）に全ての「演習・実習科目」、秋学期末（1月中下旬）に全ての「講義科目」に対して、該当する全ての授業科目で、マークシートによるアンケート調査を実施している。また、翌年度は春学期末に「講義科目」、秋学期末に「演習・実習科目」を入れ替えて実施する。

大学院については年度末（1月中下旬）に専攻ごと、カリキュラム全体について、マークシートによるアンケート調査を実施している。

b 教員や学生への公開状況，方法等

科目毎の評価結果と学生からの自由記述について、教員個人にフィードバックしている。また、全体結果と分析については報告書として作成し学内図書館で閲覧可能とし、Web上でも公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

臨床検査学科は、医療安全やチーム医療への理解と実践、さらに深い教養に根差した真摯な生命観や倫理観、臨床検査学に対する研究的視点の醸成、そして全人的医療に積極的に参加し、ときには指導的役割をも担うといった学校法人川崎学園が目指す「良き医療人」を育成・輩出する目的で設置された。

初年度の現段階では、効果的に初年次教育を行うため、本学の教育目標と教育目標に基づく教育課程の編成・実施方針を理解させることや総合医療福祉施設における研修を全学共通で取り組んだところである。

また、履修計画としては基礎教育科目と学科専門科目における基礎分野の科目が中心に展開されており、2年次以降の各専門分野の履修に繋ぐことができるよう段階的な教育を行っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

- ・平成17年3月(平成15・16年度分)、平成18年3月(平成17・18年度分)、平成21年3月(平成19・20年度分)、平成24年5月(平成21・22・23年度分)、平成27年11月(平成24・25年度分)、平成28年7月(平成26・27年度分)公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、学外諸機関に送付するとともに、学内の各所属長に配布した。
- ・平成20年4月から、本学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、平成26年10月大学基準に適合していると認定された(認定期間は平成34年3月31日まで)。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成29年 7月 31日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 川崎学園

(2) 大学名

川崎医療福祉大学

(3) 大学の位置

〒701-0193
岡山県倉敷市松島288番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カワサキ セイジ) 川崎 誠治 (平成24年3月)		
学長	(ツバハラ アキオ) 椿原 彰夫 (平成25年1月)		
学部長	(オノデラ ショウ) 小野寺 昇 (平成27年4月)		
学科長等	(イトウ カツヨシ) 伊東 克能 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療技術学部 診療放射線 技術学科 学士(診療放射線技術学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4年	60人	- 年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 60 (-) [-]	人 (-) [-]	1.16倍	
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	557 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	546 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	112 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	70 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	1.16	-		

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	70 [—] (—)	— [—] (—)		
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)		
3年次			/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次					/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)
計			— [—] (—)	— [—] (—)			— [—] (—)	— [—] (—)	70 [—] (—)	— [—] (—)

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	- 人	0 人	平成26年度	- 人	- 人		%
			平成27年度	- 人	- 人		
			平成28年度	- 人	- 人		
			平成29年度	- 人	- 人		
平成27年度 入学者	- 人	0 人	平成27年度	- 人	- 人		%
			平成28年度	- 人	- 人		
			平成29年度	- 人	- 人		
平成28年度 入学者	- 人	0 人	平成28年度	- 人	- 人		%
			平成29年度	- 人	- 人		
平成29年度 入学者	70 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	70 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医療技術学部 放射線技術学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
医療福祉分野	医療と福祉	1前	1								兼	1	
	入門医学概論	1前	2								兼	1	
	医療福祉学概論	1後	2								兼	1	
	生命倫理学	1後	2								兼	1	
基礎教育科目	文章表現	1後	2								兼	1	
	医療福祉の歴史	1前後		2							兼	1	
	哲学	1前後		2							兼	1	
	心理学	1前後		2							兼	1	
	日本国憲法	1前後		2							兼	1	
	社会学	1前後		2							兼	1	
	経済学	1前後		2							兼	1	
	数学	1前後		2		1							
	統計学	1前後		2							兼	1	
	物理学	1前後		2		1							
	化学	1前後		2							兼	1	
	生物学	1前後		2							兼	1	
人類学	1前後		2							兼	1		
外国語分野	基礎英語Ⅰ	1前	2								兼	1	
	基礎英語Ⅱ	1後	2								兼	1	
	英会話	1前後		2							兼	1	
	英会話（海外研修）	1前		2							兼	1	
	英語リーディング	1前後		2							兼	1	

基礎教育科目	健康・体育分野	健康体育基礎理論	1前	2							兼	1		
		健康体育基礎演習	1前	1								兼	1	
		健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							兼	1	
		健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							兼	1	
		健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							兼	1	
	情報分野	コンピュータ基礎演習	1後		2							兼	1	
		コンピュータ活用演習	1前後		2							兼	1	
		情報学概論	1前後		2							兼	1	
	総合分野	異文化理解	1前後		2							兼	1	
		生活環境論	1前		2							兼	1	
		ボランティア入門	1前		2							兼	1	
		生命科学	1前後		2							兼	1	
		健康科学論	1前後		2							兼	1	
		ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							兼	1	
		健康と音楽	1後		2							兼	1	
睡眠学		1前後		2							兼	1		
専門科目	専門基礎分野	医学概論	1前	1			1					兼	4	<p>2 専門領域の異なる医師の講義を追加することによる教育効果の向上を図るため、佐藤修平（兼任）を担当教員追加（29）</p> <p>1 片瀬直樹（兼任）の所属施設退職に伴い、兼任教員削除、西松伸一郎（兼任）1名での担当となるが、十分な経験を持たれているため（平成28年度も短期大学で単独担当）、支障はない（29）</p>
		医学用語	2後	1								兼	2	
		臨床医学概論Ⅰ	2前	1								兼	3	
		臨床医学概論Ⅱ	2後	1								兼	3	
		解剖生理学Ⅰ	1前	1		1								
		解剖生理学Ⅱ	1後	1		1								
		生化学	1後	1								兼	2	
		病理学総論	2前	1								兼	1	
		公衆衛生学	3後	1								兼	1	
		チーム医療総論	4前	1		1	1					兼	4	
		造影検査学総論	2前	1			1	1	1			兼	2	
		看護学概論	2後	1								兼	2	
		基礎医学大要演習	4前	1								兼	1	

専 門 科 目	専 門 分 野	診療画像技術学臨床実習Ⅰ	3前後	4			1													
		診療画像技術学臨床実習Ⅱ	3前後	4			1													
		核医学検査技術学臨床実習Ⅰ	3前後	1			1													
		核医学検査技術学臨床実習Ⅱ	3前後	1			1													
		放射線治療技術学臨床実習Ⅰ	3前後	1							1									
		放射線治療技術学臨床実習Ⅱ	3前後	1							1									
		診療放射線技術学実習総論	4前	1			1			1										
		診療放射線技術学演習Ⅰ	4後	1			1	1	1											
		診療放射線技術学演習Ⅱ	4後	1					3											
		診療放射線技術学演習Ⅲ	4後		1		1	1	1	1										兼 2
		診療放射線技術学演習Ⅳ	4後		1			4												
		卒業研究Ⅰ	3後	1			5	9	3	2										
		卒業研究Ⅱ	4前	2			5	9	3	2										
		卒業研究Ⅲ	4後	4			5	9	3	2										

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
93	33	0	126	93	33	0	126	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{126} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	川崎医療短期大学（必要校地面積10,300.00㎡）と共用（収容定員1,030人）		
	校舎敷地	27,269.00㎡	2,224.19㎡	4,233.66㎡	33,726.85㎡			
	運動場用地	39,088.00㎡	0.00㎡	11,610.00㎡	42,788.00㎡			
	小 計	66,357.00㎡	2,224.19㎡	15,843.66㎡	84,424.85㎡			
	そ の 他	65,119.00㎡	0.00㎡	34,029.83㎡	99,148.83㎡			
	合 計	131,476.00㎡	2,224.19㎡	49,873.49㎡	183,573.68㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	川崎医療短期大学（必要校舎面積10,400.00㎡）と共用（収容定員1,030人）			
	79,854.22㎡ (79,854.22㎡)	1,646.11㎡ (1,646.11㎡)	14,427.50㎡ (14,427.50㎡)	95,927.83㎡ (95,927.83㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室等の使用用途を一部変更したため(29)大学全体		
	48室	46室 44室	135室 138室	2室 (補助職員2人)	2室 (補助職員1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の研究室の割り当てを変更したため(29)申請学科全体1室を2人で使用する場合があります。		
	医療技術学部 診療放射線技術学科		12 室 20 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	教育環境を充実させるため(29)申請学科全体共用図書1,206冊1,420冊
	医療技術学部 診療放射線 技術学科	6,992〔696〕 6,532〔691〕 (6,143〔696〕) (5,920〔691〕)	22〔12〕 24〔12〕 (22〔12〕) (24〔12〕)	4〔4〕 (4〔4〕)	13 (13)	1,117 1,050 (1,117) (1,050)	43 44 (43) (41)	
	計	6,992〔696〕 6,532〔691〕 (6,143〔696〕) (5,920〔691〕)	22〔12〕 24〔12〕 (22〔12〕) (24〔12〕)	4〔4〕 (4〔4〕)	13 (13)	1,117 1,050 (1,117) (1,050)	43 44 (43) (41)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	2,482.94㎡	606		210,275				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	2,995.44㎡	第1武道場 261.52㎡	第2武道場 262.11㎡	温水プール 25m×7コース				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備購入費は 新設3学科全体(29) 設備の整備に想定より 経費がかからなかった ため(29) 図書購入費は前年度実績 により予算を見直した ため(29) 共同研究費は 大学全体 図書費には 電子ジャーナル・ データベースの 整備費 (運用コスト含む) を含む
	教員1人当り研究費等	607千円	578千円	図書購入費	一千円	3,370千円 3,749千円	4,320千円 4,449千円	
	共同研究費等	60,000千円	60,000千円	設備購入費	52,238千円 100,000千円	50,000千円	50,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,700千円	第2年次 1,400千円	第3年次 1,400千円	第4年次 1,400千円	第5年次 一千円	第6年次 一千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、手数料収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。

- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	川崎医療福祉大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
《 A C 対象学部等 》									
医療福祉学部									
子ども医療福祉学科	4	80	3年次 2	324	学士 (子ども医療福祉学)	1.01	平成29年度		
医療技術学部									
臨床検査学科	4	60	—	240	学士 (臨床検査学)	1.15	平成29年度		
診療放射線技術学科	4	60	—	240	学士 (診療放射線技術学)	1.16	平成29年度		
《 既設学部 》									
医療福祉学部									
医療福祉学科	4	136	3年次 10	564	学士 (医療福祉学)	0.66	平成3年度		
臨床心理学科	4	80	3年次 5	330	学士 (臨床心理学)	0.82	平成3年度		
保健看護学科	4	120	3年次 10	500	学士 (保健看護学)	1.24	平成7年度	岡山県 倉敷市 松島288番地	平成29年度より 100名から120名に入学 定員を変更
医療技術学部									
感覚矯正学科						1.18			
視能矯正専攻	4	40	—	160	学士 (感覚矯正学)	1.17	平成3年度		平成29年度より 30名から40名に入学定 員を変更
言語聴覚専攻	4	60	—	240	学士 (感覚矯正学)	1.19	平成3年度		平成29年度より 40名から60名に入学定 員を変更
健康体育学科	4	80	3年次 3	326	学士 (健康体育学)	1.16	平成3年度		平成29年度より 60名から80名に入学定 員を変更
臨床栄養学科	4	50	3年次 3	206	学士 (臨床栄養学)	1.05	平成3年度		
リハビリテーション学科						1.32			
理学療法学科	4	60	—	240	学士 (リハビリテーション学)	1.30	平成7年度		平成29年度より 40名から60名に入学定 員を変更
作業療法学科	4	60	—	240	学士 (リハビリテーション学)	1.33	平成7年度		平成29年度より 40名から60名に入学定 員を変更
臨床工学科	4	80	—	320	学士 (臨床工学)	1.22	平成19年度		平成29年度より 60名から80名に入学定 員を変更

医療福祉マネジメント学部												
医療福祉経営学科	4	60	3年次 2	244	学士 (医療福祉経営学)	0.73	平成17年度					
医療秘書学科	4	60	3年次 2	244	学士 (医療秘書学)	0.61	平成17年度					
医療福祉デザイン学科	4	40	3年次 2	164	学士 (医療福祉デザイン学)	0.52	平成17年度					
医療情報学科	4	60	3年次 3	246	学士 (医療情報学)	0.65	平成17年度					
医療福祉学研究科												
医療福祉学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (医療福祉学)	0.60	平成8年度					
医療福祉学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (医療福祉学)	0.22	平成10年度					
臨床心理学専攻 (修士課程)	2	12	—	24	修士 (臨床心理学)	0.62	平成8年度					
臨床心理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.33	平成10年度					
保健看護学専攻 (修士課程)	2	12	—	24	修士 (保健看護学)	0.50	平成11年度					
保健看護学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (保健看護学)	0.50	平成18年度					
医療技術学研究科												
感覚矯正学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (感覚矯正学)	0.93	平成8年度					
感覚矯正学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (感覚矯正学)	0.16	平成10年度					
健康体育学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (健康体育学)	0.12	平成8年度					
臨床栄養学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (臨床栄養学)	0.31	平成8年度					
リハビリテーション学専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士 (リハビリテーション学)	0.83	平成11年度					
リハビリテーション学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (リハビリテーション学)	0.66	平成13年度					
臨床工学専攻 (修士課程)	2	4	—	8	修士 (臨床工学)	0.25	平成23年度					
臨床工学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (臨床工学)	0.16	平成23年度					
健康科学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (健康科学)	0.83	平成10年度					
								岡山県 倉敷市 松島288番地				

医療福祉マネジメント学研究所												
医療福祉経営学専攻 (修士課程)	2	3	—	6	修士 (医療福祉経営学)	0.00	平成21年度	岡山県 倉敷市 松島288番地				
医療秘書学専攻 (修士課程)	2	2	—	4	修士 (医療秘書学)	1.00	平成21年度					
医療福祉マネジメント学専攻 (修士課程)	2	4	—	8	修士 (医療福祉マネジメント学)	0.00	平成21年度					
医療情報学専攻 (修士課程)	2	8	—	16	修士 (医療情報学)	0.25	平成21年度					
医療情報学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (医療情報学)	0.16	平成21年度					
大学の名称	川崎医科大学								備考			
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地				
	年	人	年次 人	人		倍						
医学部 医学科	6	126	—	696	学士 (医学)	1.02	昭和45年度	岡山県 倉敷市 松島577番地	平成29年度 入学定員変更 (120人→126人) 平成27年度 入学定員変更 (110人→120人)			
医学研究科 医科学専攻	4	25	—	100	博士 (医学)	0.49	昭和51年度					
大学の名称	川崎医療短期大学								備考			
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地				
	年	人	年次 人	人		倍						
看護科	3	120	—	360	短期大学士 (看護)	1.13	昭和48年度	岡山県 倉敷市 松島316番地	平成29年より学生 募集停止 平成29年より学生 募集停止			
臨床検査科	3	—	—	—	短期大学士 (臨床検査)	—	昭和48年度					
放射線技術科	3	—	—	—	短期大学士 (放射線技術)	—	昭和52年度					
医療介護福祉科	2	80	—	160	短期大学士 (医療介護福祉)	0.15	平成13年度					
医療保育科	3	—	—	—	短期大学士 (医療保育)	—	平成17年度					

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医療技術学部 診療放射線技術学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	荒尾 信一 (53)	平成31年4月1日	放射線画像機器工学 I							
				放射線画像機器工学 II							
				X線CT画像検査学 I							
				診療画像検査学							
				診療画像技術学実験 I							
				診療画像技術学詳論 II							
				医用画像解析学 II							
				医用画像解析学実験							
				診療放射線技術学演習 I							
				卒業研究 I							
				卒業研究 II							
卒業研究 III											
兼任	講師	荒尾 信一 (51)	平成29年4月1日	放射線画像機器工学 I							
				放射線画像機器工学 II							
				X線CT画像検査学 I							
				診療画像技術学実験 I							
				医用画像解析学 II							
医用画像解析学実験											
専	教授	小野(木村) 敦 (55)	平成29年4月1日	X線CT画像検査学 II							
				MR画像検査学 I							
				診療画像技術学実験 I							
				診療画像技術学実験 II							
				診療画像技術学詳論 II							
				診療画像技術学基礎実習							
				卒業研究 I							
				卒業研究 II							
卒業研究 III											
専	教授	軸屋 和明 (68)	平成29年4月1日	医用電気電子工学 II							
				医用電気電子工学実験							
専	教授	田淵 昭彦 (52)	平成30年4月1日	チーム医療総論							
				MR画像検査学 II							
				放射線機器工学基礎実習							
				診療画像技術学臨床実習 I							
				診療画像技術学臨床実習 II							
				診療放射線技術学実習総論							
				卒業研究 I							
				卒業研究 II							
卒業研究 III											
専	教授	原内 一 (56)	平成29年4月1日	基礎科学演習 II							
				情報科学総論							
				診療画像技術学実験 II							
				医用画像解析学実験							
				医用画像情報学							
				医用画像情報学詳論							
				診療放射線技術学演習 III							
				卒業研究 I							
卒業研究 II											
卒業研究 III											
専	教授	松本 真 (63)	平成29年4月1日	解剖生理学 I							
				解剖生理学 II							
専	教授	三村 浩朗 (58)	平成30年4月1日	核医学検査技術学 II							
				核医学検査技術学 III							
				核医学検査技術学詳論							
				放射線安全管理学実験							
				放射線機器工学基礎実習							
				核医学検査技術学臨床実習 I							
				核医学検査技術学臨床実習 II							
				卒業研究 I							
				卒業研究 II							
卒業研究 III											

兼任	教授	田口 豊郁 (63)	平成29年4月1日	生活環境論					
兼任	教授	種村 純 (64)	平成29年4月1日	医療と福祉 医療福祉学概論					
兼任	教授	林 明弘 (58)	平成29年4月1日	哲学					
兼任	教授	平井 敏弘 (66)	平成29年4月1日	入門医学概論					
兼任	教授	福岡 欣治 (48)	平成29年4月1日	心理学					
兼任	教授	保野 孝弘 (56)	平成29年4月1日	睡眠学					
兼任	教授	益田 芳樹 (67)	平成29年4月1日	生物学					
兼任	教授	矢野 博己 (51)	平成29年4月1日	健康体育実技(フィットネス系) 健康科学論					
兼任	教授	吉岡 リサ (64)	平成29年4月1日	英会話 英語リーディング					
兼任	准教授	田中 順子 (58)	平成29年4月1日	健康と音楽					
兼任	准教授	田並 尚恵 (50)	平成29年4月1日	社会学					
兼任	准教授	福島 康弘 (44)	平成29年4月1日	ボランティア入門					
兼任	准教授	山内 泰子 (56)	平成29年4月1日	生命倫理学 生命科学					
兼任	講師	伊藤 智崇 (44)	平成32年4月1日	チーム医療総論					
兼任	講師	植松 章子 (44)	平成29年4月1日	コンピュータ基礎演習					
兼任	講師	小池 大介 (42)	平成29年4月1日	コンピュータ活用演習					
兼任	講師	朱 容仁 (45)	平成29年4月1日	健康体育基礎理論 健康体育基礎演習 健康体育実技(スポーツ系) 健康体育実技(レクリエーション系)					
兼任	講師	谷川 智宏 (43)	平成29年4月1日	情報学概論					
兼任	講師	西脇 藍 (40)	平成29年4月1日	医療福祉の歴史					
兼任	講師	根来 麻子 (36)	平成29年4月1日	文章表現					
兼任	講師	秦 久美子 (57)	平成29年4月1日	ヒューマンセクシャリティー論					
兼任	講師	平田(森) 智子 (35)	平成29年4月1日	経済学					
兼任	講師	山下 力 (41)	平成31年4月1日	診療画像検査学					
兼任	講師	阿部 利則 (63)	平成29年4月1日	統計学					
兼任	講師	阿部 俊憲 (36)	平成31年4月1日	放射線機器工学基礎実習					
兼任	講師	池長 弘幸 (53)	平成30年4月1日	X線CT画像検査学Ⅱ 放射線機器工学基礎実習					
兼任	講師	池原 麗子 (45)	平成30年4月1日	看護学概論					
兼任	講師	石川 哲也 (46)	平成31年4月1日	放射線機器工学基礎実習					
兼任	講師	板谷 道信 (64)	平成29年4月1日	医学用語 基礎科学実験 医用電気電子工学実験					
兼任	講師	伊東 克能 (55)	平成29年4月1日	チーム医療総論 画像診断学概論 画像解剖学演習 診療画像技術学詳論Ⅰ 診療放射線技術学演習Ⅲ					
兼任	講師	犬伏 正幸 (49)	平成29年4月1日	医学概論 基礎医学大要演習 核医学概論 核医学検査技術学詳論 診療放射線技術学演習Ⅲ					

兼任	講師	井上 千穂 (35)	平成30年4月1日	医療安全管理学						
兼任	講師	大江 信幸 (57)	平成31年4月1日	放射線機器工学基礎実習						
兼任	講師	大屋 まり子 (47)	平成30年4月1日	看護学概論						
兼任	講師	岡田 みどり (54)	平成32年4月1日	チーム医療総論						
兼任	講師	角場 幸記 (49)	平成31年4月1日	放射線治療技術学詳論 放射線安全管理学実験						
兼任	講師	片瀬 直樹 (37)	平成29年4月1日	生化学						片瀬直樹(兼任)の所属施設退職に伴い、兼任教員削除、西松伸一郎(兼任)1名での担当となるが、十分な経験を持たれているため(平成28年度も短期大学で単独担当)、支障はない(29)
兼任	講師	神谷 伸彦 (36)	平成30年4月1日	放射線腫瘍学概論						
兼任	講師	甲谷 理温 (47)	平成31年4月1日	核医学検査技術学Ⅲ 核医学検査技術学詳論						
兼任	講師	神吉 昭彦 (41)	平成31年4月1日	画像解剖学演習 診療画像技術学詳論Ⅰ						
兼任	講師	河口 豊 (58)	平成32年4月1日	チーム医療総論						
兼任	講師	小島 健次 (61)	平成30年4月1日	超音波画像検査学						
兼任	講師	小林 博久 (57)	平成30年4月1日	病理学総論						
兼任	講師	古牧 伸介 (45)	平成31年4月1日	放射線機器工学基礎実習						
兼任	講師	佐藤 朋宏 (41)	平成32年4月1日	診療画像技術学詳論Ⅰ						
兼任	講師	佐内 弘恭 (41)	平成31年4月1日	放射線機器工学基礎実習						
兼任	講師	鈴木 智子 (49)	平成31年4月1日	放射線機器工学基礎実習						
兼任	講師	高橋 美由紀 (53)	平成31年4月1日	放射線科学実験						
兼任	講師	竹内 省吾 (36)	平成31年4月1日	画像解剖学演習						
兼任	講師	谷 忠司 (44)	平成31年4月1日	放射線機器工学基礎実習						
兼任	講師	谷本 大吾 (40)	平成30年4月1日	臨床医学概論Ⅰ 臨床医学概論Ⅱ 画像診断学概論 画像解剖学演習 診療画像技術学詳論Ⅰ						
兼任	講師	谷本 泰正 (64)	平成29年4月1日	化学						
兼任	講師	玉田 勉 (49)	平成30年4月1日	画像診断学概論						
兼任	講師	津島 義正 (64)	平成30年4月1日	医療安全管理学						
兼任	講師	寺尾 香里 (40)	平成30年4月1日	造影検査学総論						
兼任	講師	釋舎 竜司 (51)	平成30年4月1日	放射線腫瘍学概論						
兼任	講師	鳥越 晃之 (36)	平成30年4月1日	臨床医学概論Ⅰ						
兼任	講師	長瀬 尚巳 (58)	平成30年4月1日	放射線治療技術学Ⅱ						
兼任	講師	名木田 恵理子 (65)	平成30年4月1日	医学用語						
兼任	講師	西浦 公 (68)	平成29年4月1日	日本国憲法						
兼任	講師	西松 伸一郎 (53)	平成29年4月1日	生化学						
兼任	講師	西山 征孝 (31)	平成31年4月1日	放射線安全管理学実験 放射線機器工学基礎実習						
兼任	講師	野田 靖文 (38)	平成30年4月1日	臨床医学概論Ⅱ						

兼任	講師	林 由佳子 (48)	平成31年4月1日	放射線機器工学基礎実習					
兼任	講師	林田 稔 (43)	平成30年4月1日	画像診断学概論					
兼任	講師	樋口 真樹子 (43)	平成31年4月1日	放射線科学実験 放射線機器工学基礎実習					
兼任	講師	人見 剛 (57)	平成31年4月1日	放射線機器工学基礎実習					
兼任	講師	兵藤 文則 (71)	平成31年4月1日	公衆衛生学					
兼任	講師	平井 紀之 (62)	平成30年4月1日	超音波画像検査学					
兼任	講師	平塚 純一 (62)	平成29年4月1日	放射線生物学					
兼任	講師	藤井 隼人 (41)	平成31年4月1日	放射線機器工学基礎実習					
兼任	講師	藤井 政明 (42)	平成31年4月1日	放射線機器工学基礎実習					
兼任	講師	水野 朱里 (38)	平成31年4月1日	放射線機器工学基礎実習					
兼任	講師	三村 あけみ (59)	平成31年4月1日	放射線科学実験					
兼任	講師	村中 明 (69)	平成31年4月1日	放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用					
兼任	講師	山本 亮 (46)	平成29年4月1日	臨床医学概論Ⅰ 臨床医学概論Ⅱ 造影検査学総論 画像診断学概論 画像解剖学演習 診療画像技術学詳論Ⅰ					
兼任	講師	吉田 耕治 (50)	平成30年4月1日	MR画像検査学Ⅱ 放射線機器工学基礎実習					
兼任	講師	余田 栄作 (51)	平成29年4月1日	放射線生物学 放射線科学演習Ⅱ 放射線腫瘍学概論 放射線治療技術学詳論					

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
8	10	3	2	23	5	7	0	1	13	8	10	3	2	23
(5)	(7)	(0)	(1)	(13)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授・准教授 65 講師・助教 60 歳	2 名	5 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし								
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
該当なし	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
該当なし	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A） + （C）				後任補充状況の集計（B） + （D）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
該当なし	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	医療技術学部リハビリテーション学科理学療法専攻、作業療法専攻の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	1. 平成29年度入試では、歩留を考慮しつつより厳密に合格者数の調整を行った結果、理学療法専攻、作業療法専攻ともに入学定員超過率は1.13倍となり、定員超過(1.3倍以上)を是正している。	1. 過去4年間の平均入学定員超過率については、理学療法専攻が1.30倍、作業療法専攻が1.33倍であり、両専攻ともに依然として定員超過(1.3倍以上)を是正できていないため、平成30年度の入試においても合格者数の厳密な調整を行い、適正な平均入学定員超過率となるように努める。
設置時 (28年7月)	医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科及び川崎医療短期大学医療介護福祉科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	<p>【医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科】</p> <p>1. 平成29年度入試より3施設(本学・川崎医療短期大学・川崎リハビリテーション学院)合同入試を開始し、専願以外の入試区分(推薦入試後期、一般入試前期・後期)において、3施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大した。</p> <p>2. 他校との差別化を図るために、デザイン・情報の価値創造と問題解決ができる人材の養成に特化したカリキュラムに変更し、それを強調した広報活動をよりシステムティックに展開した。</p> <p>3. これらにより平成29年度入試における医療福祉デザイン学科及び医療情報学科の入学定員超過率は、それぞれ0.72倍及び0.81倍となり、両学科ともに定員未充足(0.7倍未満)を是正している。</p> <p>【川崎医療短期大学医療介護福祉科】</p> <p>1. 平成29年度入試より3施設(本学・川崎医療福祉大学・川崎リハビリテーション学院)合同入試を開始し、専願以外の入試区分(推薦入試後期、一般入試前期・後期)において、3施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大した。</p> <p>2. 他校との差別化を図るためにリハビリ等の医療系の科目を授業に取り入れ、福祉施設、病院どちらも活躍できる人材を育成した。</p> <p>3. 本学医療介護福祉科をより理解してもらうために、高校生、高校の教員などを対象とした公開授業を実施した。また、アンケートを通じて、高校生、高校の教員が本学医療介護福祉科に期待すること等の調査・情報収集を行った。</p> <p>4. 卒業生の就職先の幅を広げるために病院を始めとした医療機関にも就職先を確保する努力とその成果の発信に努めた。</p>	<p>【医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科】</p> <p>1. 過去4年間の平均入学定員超過率については、医療福祉デザイン学科が0.52倍、医療情報学科が0.65倍であり、両学科ともに依然として定員未充足(0.7倍未満)を是正できていない。適正な平均入学定員超過率とするために、以下の4つの計画を実行する。</p> <p>1) 3施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集人員の見直しを行う。</p> <p>2) 医療福祉デザイン学科では将来の職業に繋がる研究会を立ち上げており、これを大きく広報する役割も担った講演会を開催する。</p> <p>3) 当該学科で取得可能な専門資格について、高校訪問等で情報提供することに尽力する。</p> <p>4) Webや冊子の両面から広告掲載を充実させ、高校生が多方面から情報を得ることができるよう広報活動を充実させる。</p> <p>【川崎医療短期大学医療介護福祉科】</p> <p>1. 3施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集定員、高校訪問等の見直しを検討する。</p> <p>2. 公開授業のアンケートを通じて、得られた情報を分析し本学科の今後の在り方に反映する。</p> <p>3. 就職先での本学卒業生の評価の調査と調査結果をフィードバックすることにより教育内容等をチェックし、地域社会に貢献できる、より有用な人材を育成する。</p> <p>4. 学生の要望に沿ったキャリア教育及びそれにより得られた成果の外部への効果的な発信を行う。</p>

<p>設置時 (28年7月)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。(子ども医療福祉学科)</p>	<p>留意事項</p>	<p>定年規程の趣旨を踏まえた教員組織編制の将来構想のために、学長、副学長、事務部長、教務課長、庶務課長、学科長、副学科長を交えた議論の場を設定し、退職年齢を超える専任教員の後任となる若手教員の採用構想について、議論を進めている。</p>	<p>定年年齢延長の教員の後任については、職階・学位・専門職種等に配慮しながら、原則として本学定年規定内の教員をもって採用していくこと等により順次解消していく。また、今後の採用は、原則として若手教員とし、教員組織全体の若返りを図り、課題を解決していく計画である。</p>
------------------------	---	-------------	---	---

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<医療技術学部 診療放射線技術学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成16年5月 FD委員会を設置 平成18年4月 FD・SD委員会に名称変更 ※FD・SD委員会規程は別途添付</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>年間 8 回開催（委員は教員6名と事務職員3名で構成）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD・SD研修会について 教員相互の授業参観について 卒業生へのアンケートについて 等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD・SD研修会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 卒業生へのアンケート <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FD・SD研修会 全学の教職員を対象として、主としてFD活動の先駆的に取組んでいる大学・学部や研究組織あるいは大学内での先行学科等の教職員やスタッフを招いて、総括的な話題や具体的な事例等について講演を聴き、自由形式の意見交換を行うことで、授業改善などに役立てている。 その他、FD・SD委員会共催による活動として知的財産、利益相反等の研究活動関連、ハラスメント等に関する研修会を行い、業務領域の知見の獲得を目指している。 ・ 教員相互の授業参観 教員相互の授業参観の実態について学期末ごとに全学科の調査を行っている。 また、授業評価アンケートの結果、学生の満足度が高い授業について公開授業を行っている。 ・ 卒業生へのアンケート 学部卒業年次生を対象に、在学中の教育について18項目のアンケートを1月から卒業式までの間に実施している。
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ F D ・ S D 研修会
平成16年度から毎年2回開催している。
 - ・ 平成28年8月「ポートフォリオ評価と学習者の変容」（参加教員175名）
 - ・ 平成29年3月「多職種連携について」「ポートフォリオの取り組み」（参加者197名）
- ・ 教員相互の授業参観
平成18年度から学期ごとに毎年調査を実施しており、平成28年度は春学期に延べ200件、秋学期は延べ250件の授業が参観されている。
- ・ 卒業生へのアンケート
平成18年度から毎年実施しており、結果については学科長に周知するとともに、報告書をポータルサイトで公開している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

継続的な F D ・ S D 研修会を定着することで、特に平成28年度はアクティブラーニング、ポートフォリオの事例についての研修を行い、それぞれの授業改善に結びつけるとともに、授業評価の体制を見直していく契機とすることができた。また、学科独自の F D 活動と有機的な結合を図っている。

教員相互の授業参観についても、授業評価アンケートの結果、学生の満足度が高い授業のねらいなどを紹介するとともに、該当授業を公開することで教授力の向上に役立てている。

今後は、卒業生アンケートや授業評価アンケートなどのデータを蓄積し、長期的・統一的な視野から分析することによって、総合的かつより実践的な教育改善計画を策定していく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学部について、春学期末（7月中下旬）に全ての「演習・実習科目」、秋学期末（1月中下旬）に全ての「講義科目」に対して、該当する全ての授業科目で、マークシートによるアンケート調査を実施している。また、翌年度は春学期末に「講義科目」、秋学期末に「演習・実習科目」を入れ替えて実施する。

大学院については年度末（1月中下旬）に専攻ごと、カリキュラム全体について、マークシートによるアンケート調査を実施している。

b 教員や学生への公開状況，方法等

科目毎の評価結果と学生からの自由記述について、教員個人にフィードバックしている。また、全体結果と分析については報告書として作成し学内図書館で閲覧可能とし、Web上でも公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

診療放射線技術学科は、最先端の画像検査、放射線治療及び放射線安全管理を支える医用放射線技術学分野の教育研究を実施し、高度な医療技術の進歩と医療安全に対応し、チーム医療の一翼を担うことができる診療放射線技師を育成すること、そして、医用放射線技術学分野の発展に貢献できる探求心と研究能力を兼ね備えた専門技術者を養成する目的で設置された。

初年度の現段階では、効果的に初年次教育を行うため、本学の教育目標と教育目標に基づく教育課程の編成・実施方針を理解させることや総合医療福祉施設における研修を全学共通で取り組んだところである。

また、履修計画としては基礎教育科目と学科専門科目における基礎分野の科目が中心に展開されており、2年次以降の各専門分野の履修に繋ぐことができるよう段階的な教育を行っている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

- ・平成17年3月(平成15・16年度分)、平成18年3月(平成17・18年度分)、平成21年3月(平成19・20年度分)、平成24年5月(平成21・22・23年度分)、平成27年11月(平成24・25年度分)、平成28年7月(平成26・27年度分)公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、学外諸機関に送付するとともに、学内の各所属長に配布した。
- ・平成20年4月から、本学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、平成26年10月大学基準に適合していると認定された(認定期間は平成34年3月31日まで)。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成29年 7月 31日)